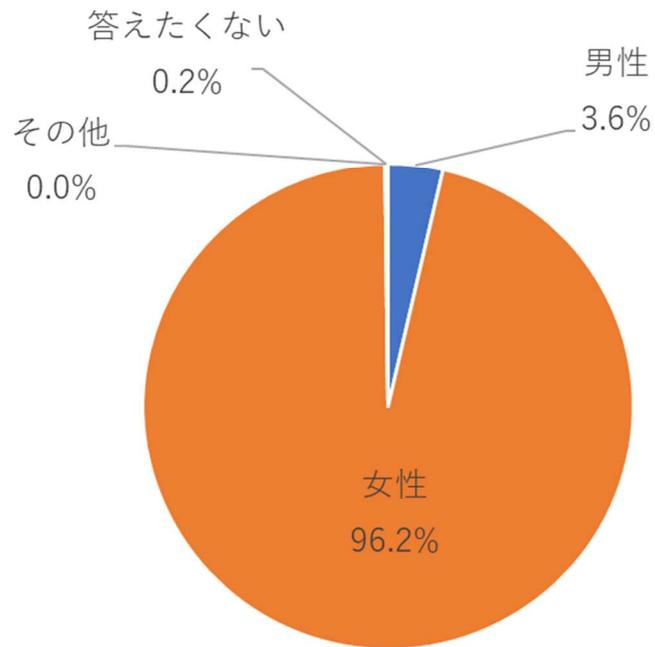


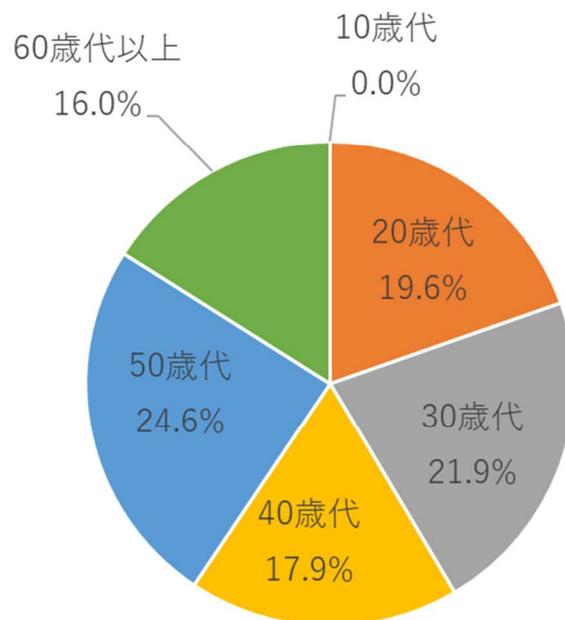
問1 性別

単一回答



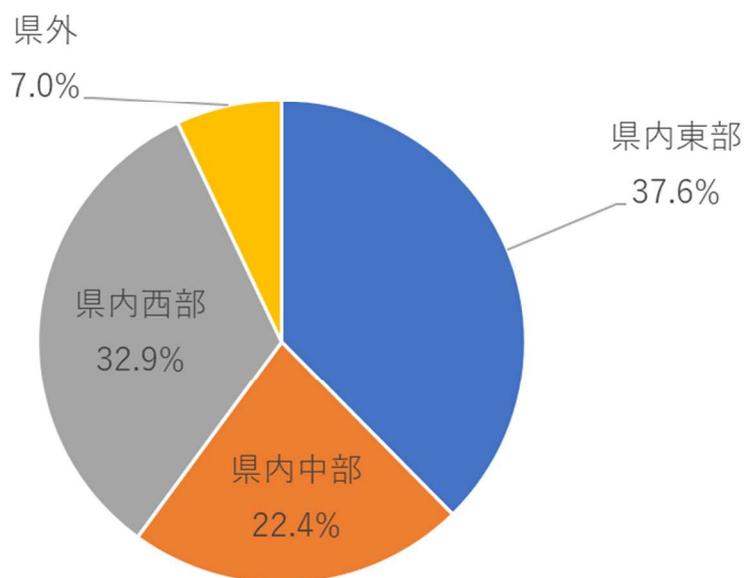
問2 年齢

単一回答



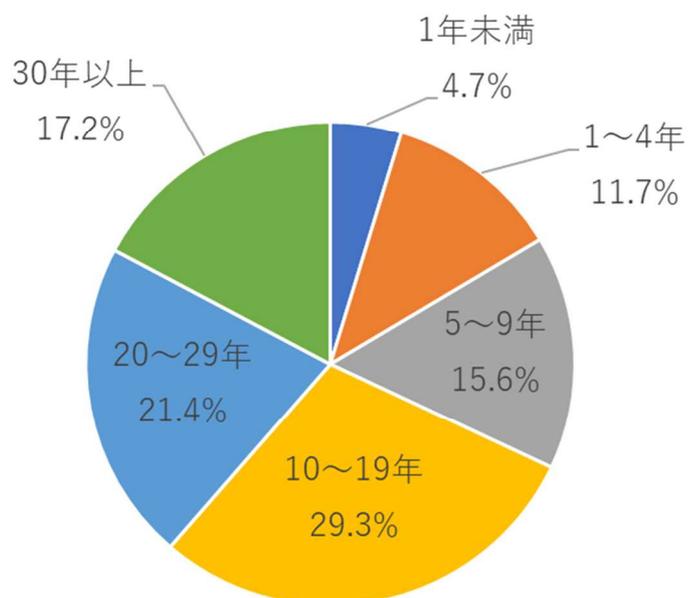
問3 お住まい

単一回答



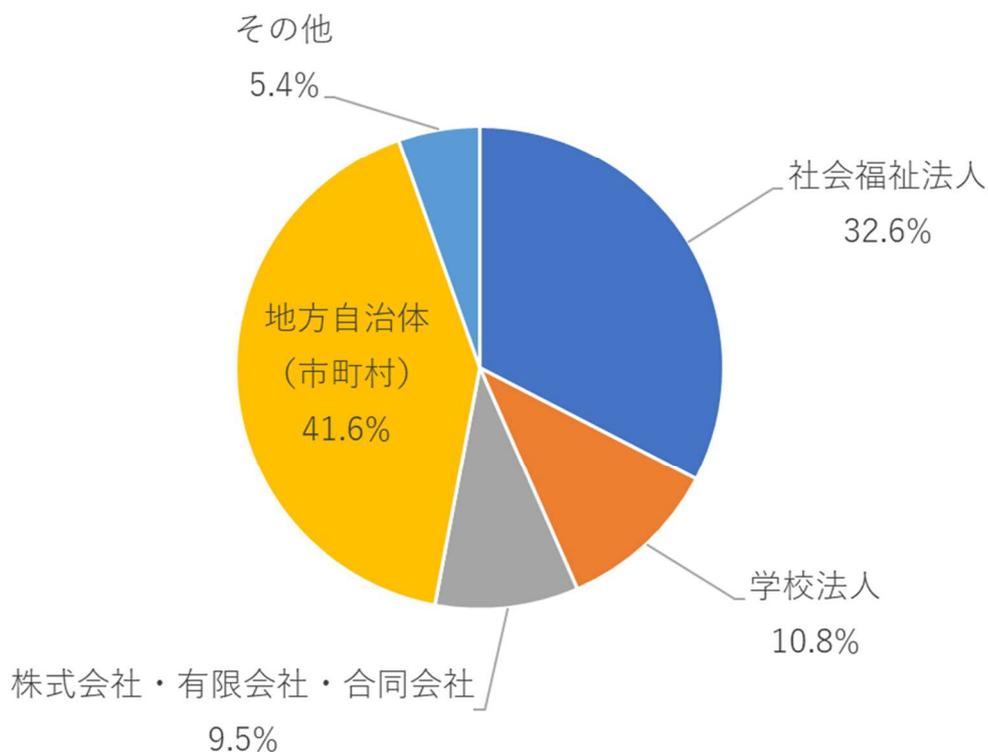
問4 保育士としての経験年数

単一回答



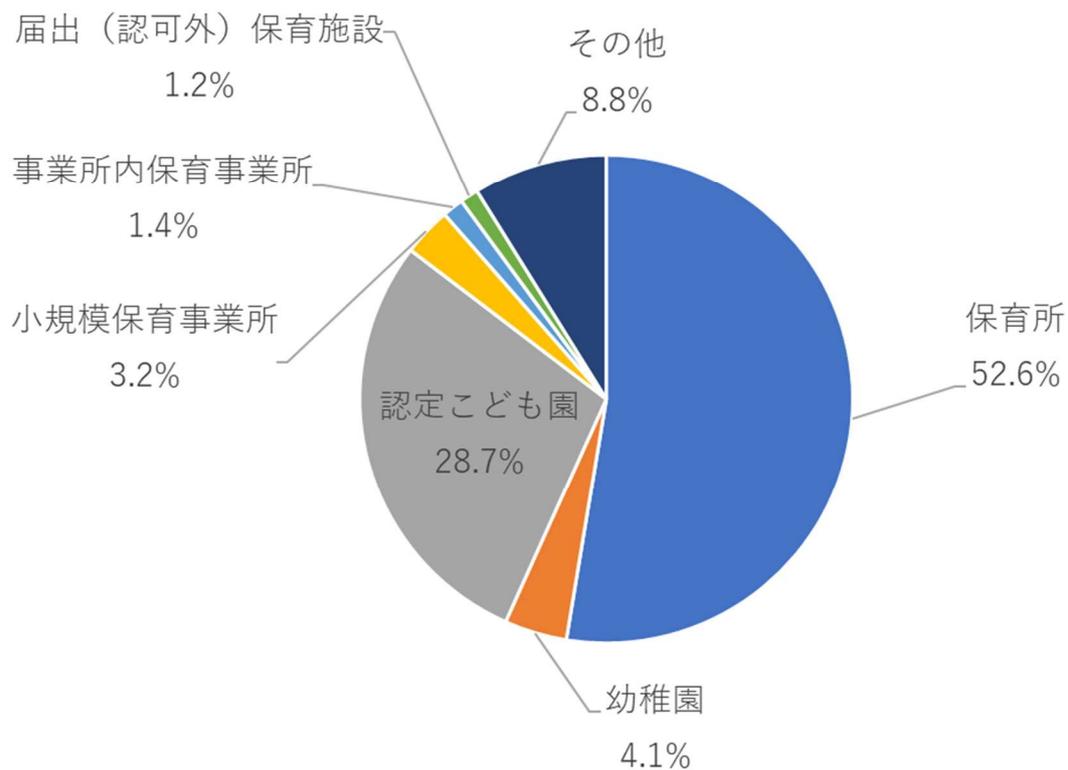
問5 所属先の法人種類

単一回答



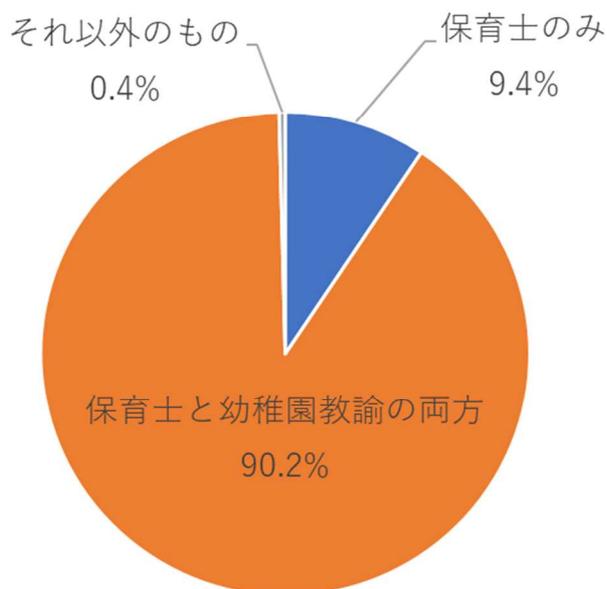
問6 所属先の施設区分

単一回答



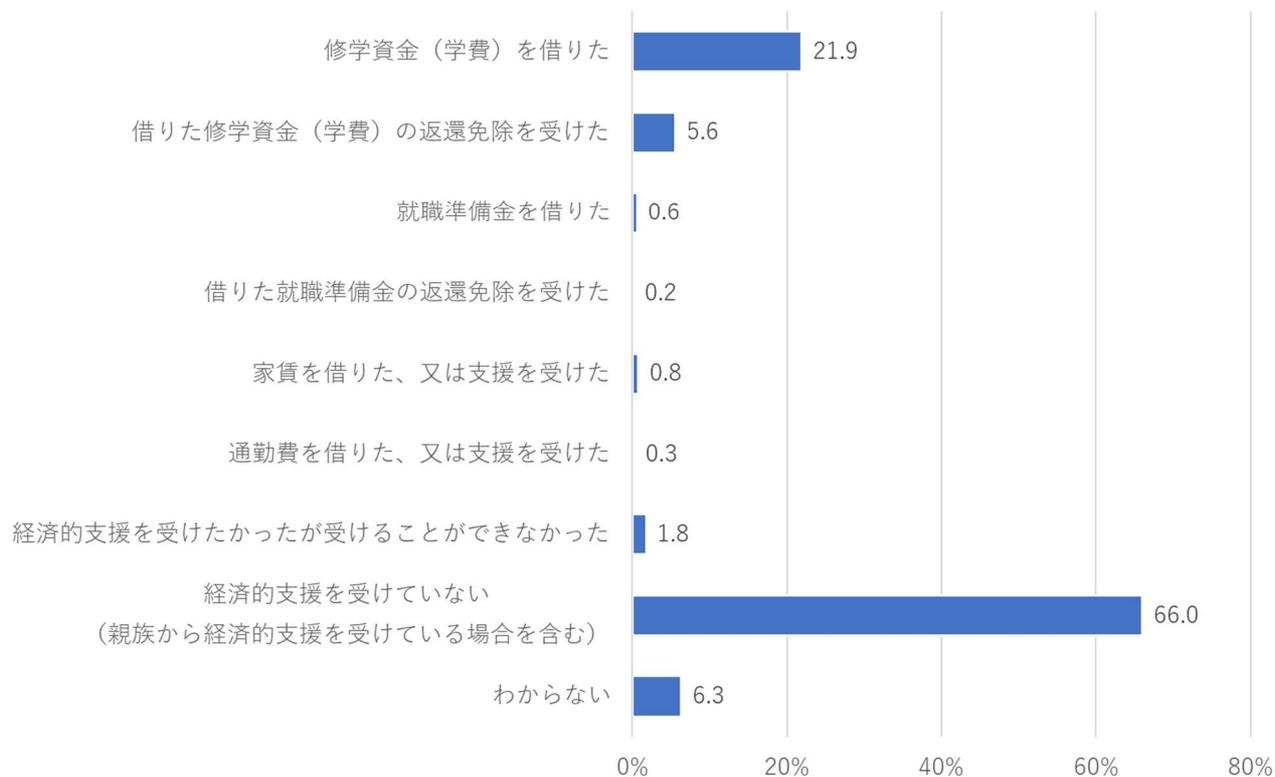
問7 取得した免許

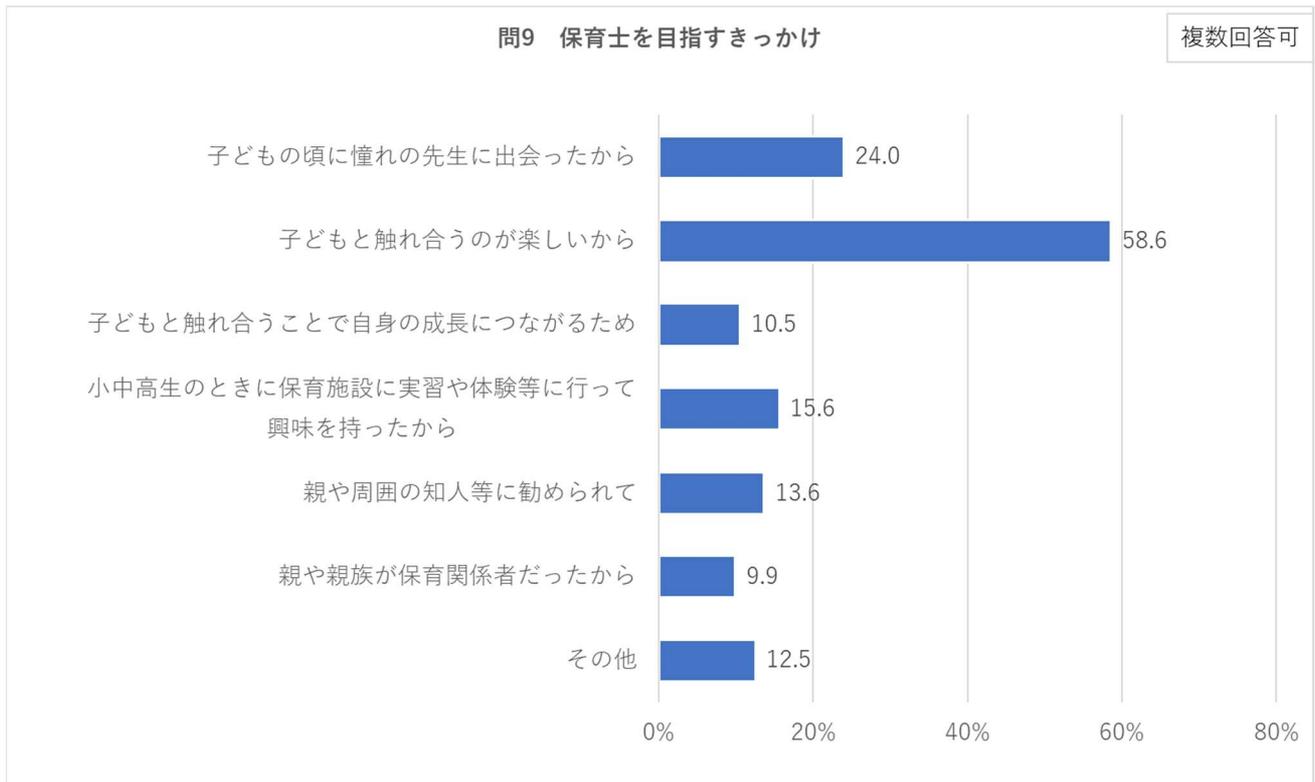
単一回答



問8 資格取得費用に対する公的な経済的支援

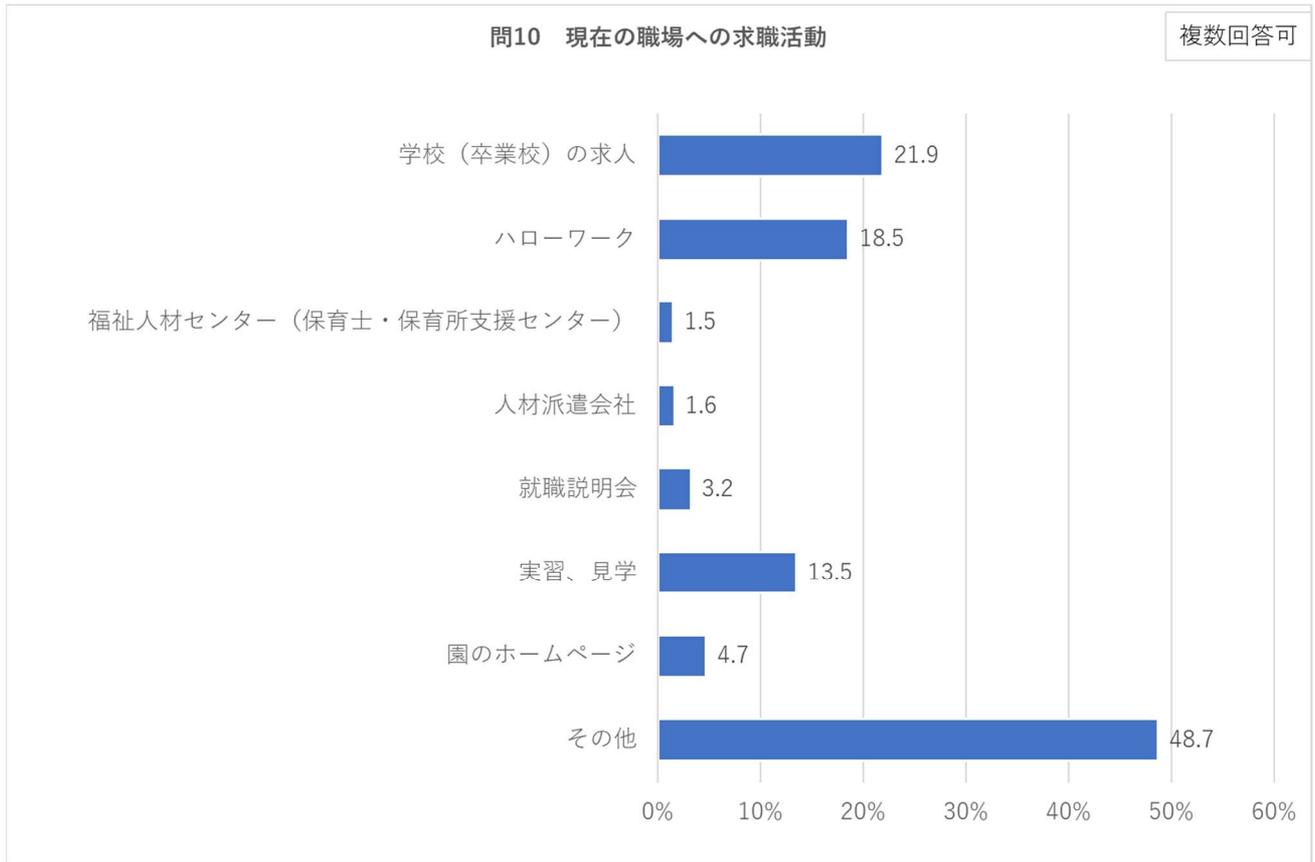
複数回答可

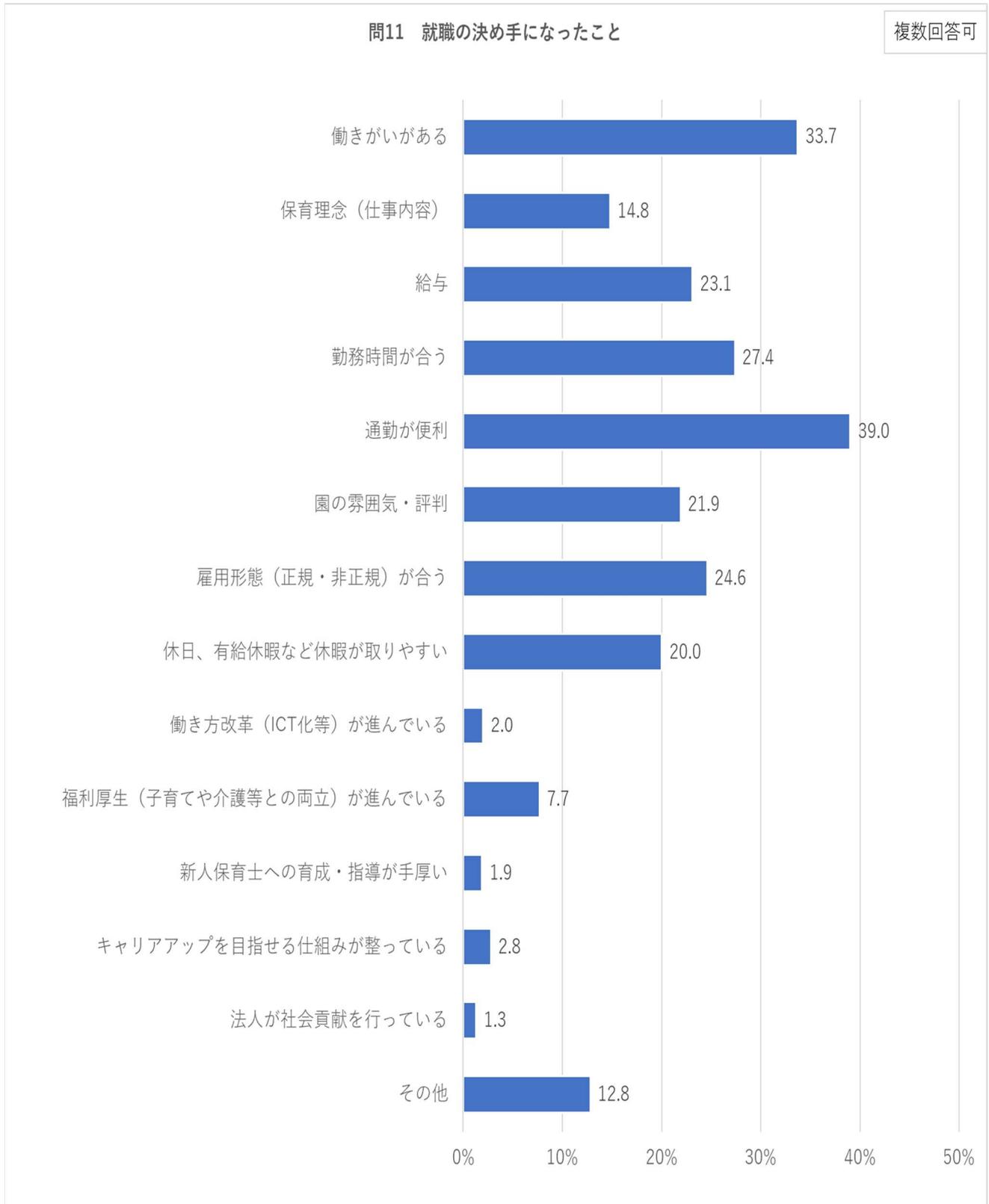




問9 その他意見（抜粋）

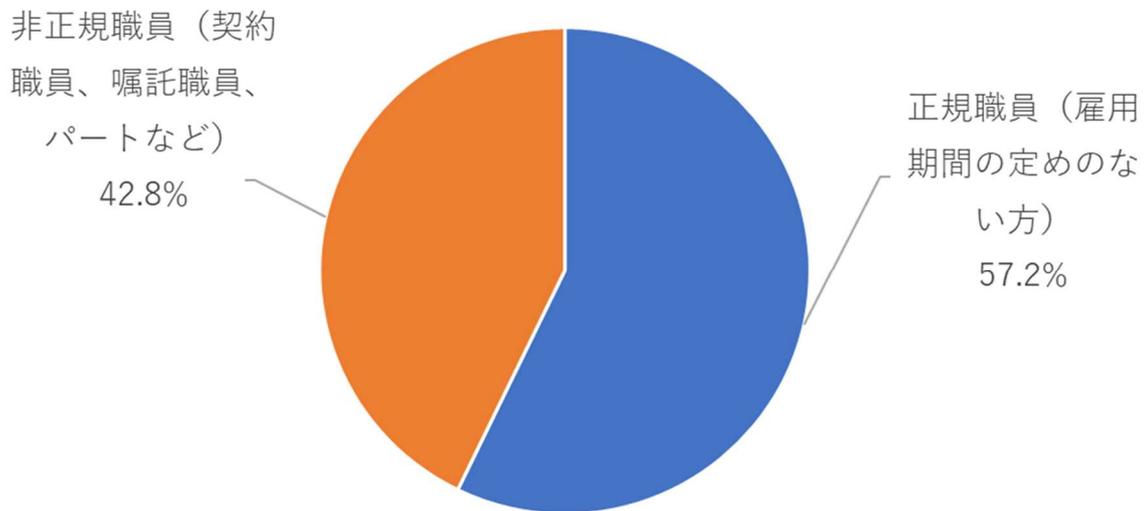
性別	年齢	経験年数	意見
女性	50歳代	5～9年	子どもから手が離れ、今までの恩返しのつもりで。
女性	40歳代	5～9年	子どもの読書に関心があるため。子育てや子どもについて学ぶため。
女性	50歳代	30年以上	給食が好きだから。
女性	40歳代	10～19年	ピアノを弾くのが好きだから。
女性	30歳代	5～9年	自分が子育て支援センターで保育士さんにお世話になり、助かったから。
女性	30歳代	5～9年	子どもの頃の楽しい記憶。
女性	30歳代	1～4年	子どもが産まれて園と関わりを持つようになり、すてきな先生に出会えたから。
女性	20歳代	1～4年	子どもに運動を教えたいと思ったから。
女性	40歳代	20～29年	ピアノが弾けるし、絵をかいたりするのも好きだったから。



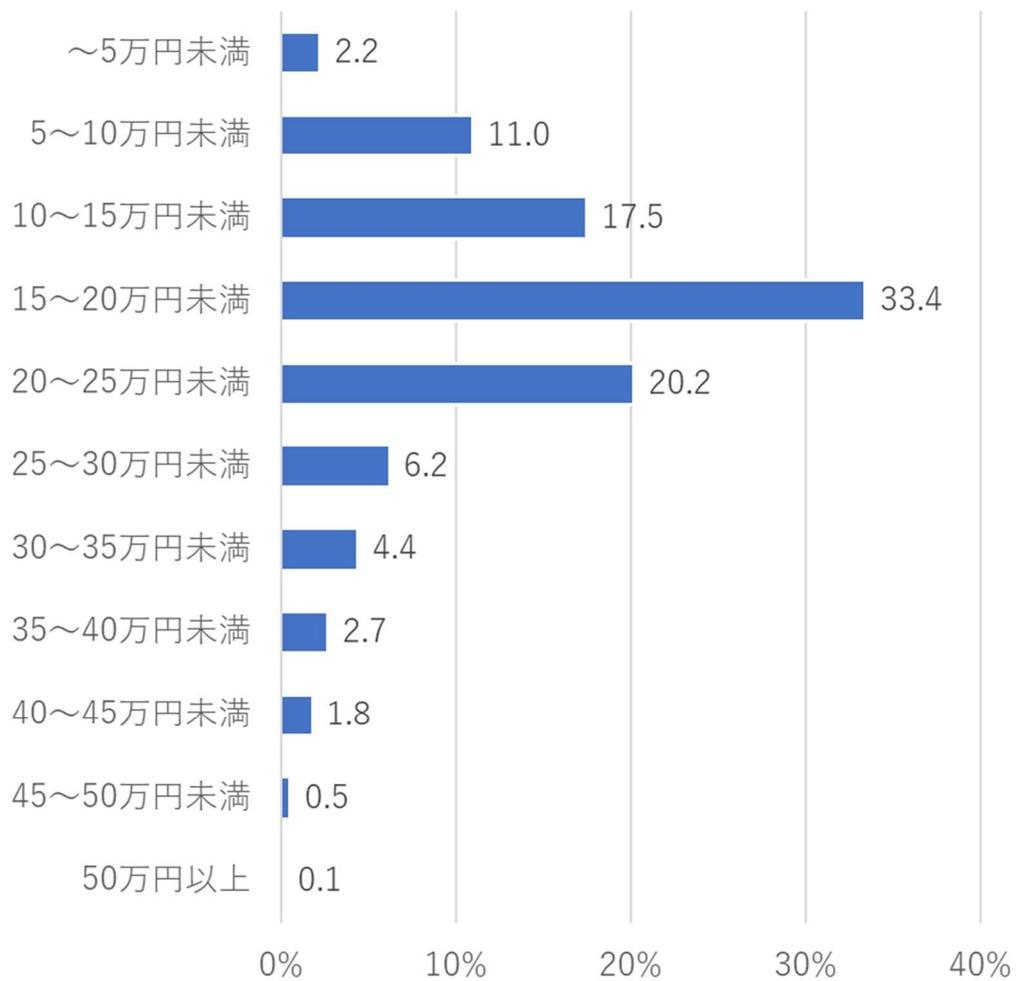


問12 就業・勤務形態

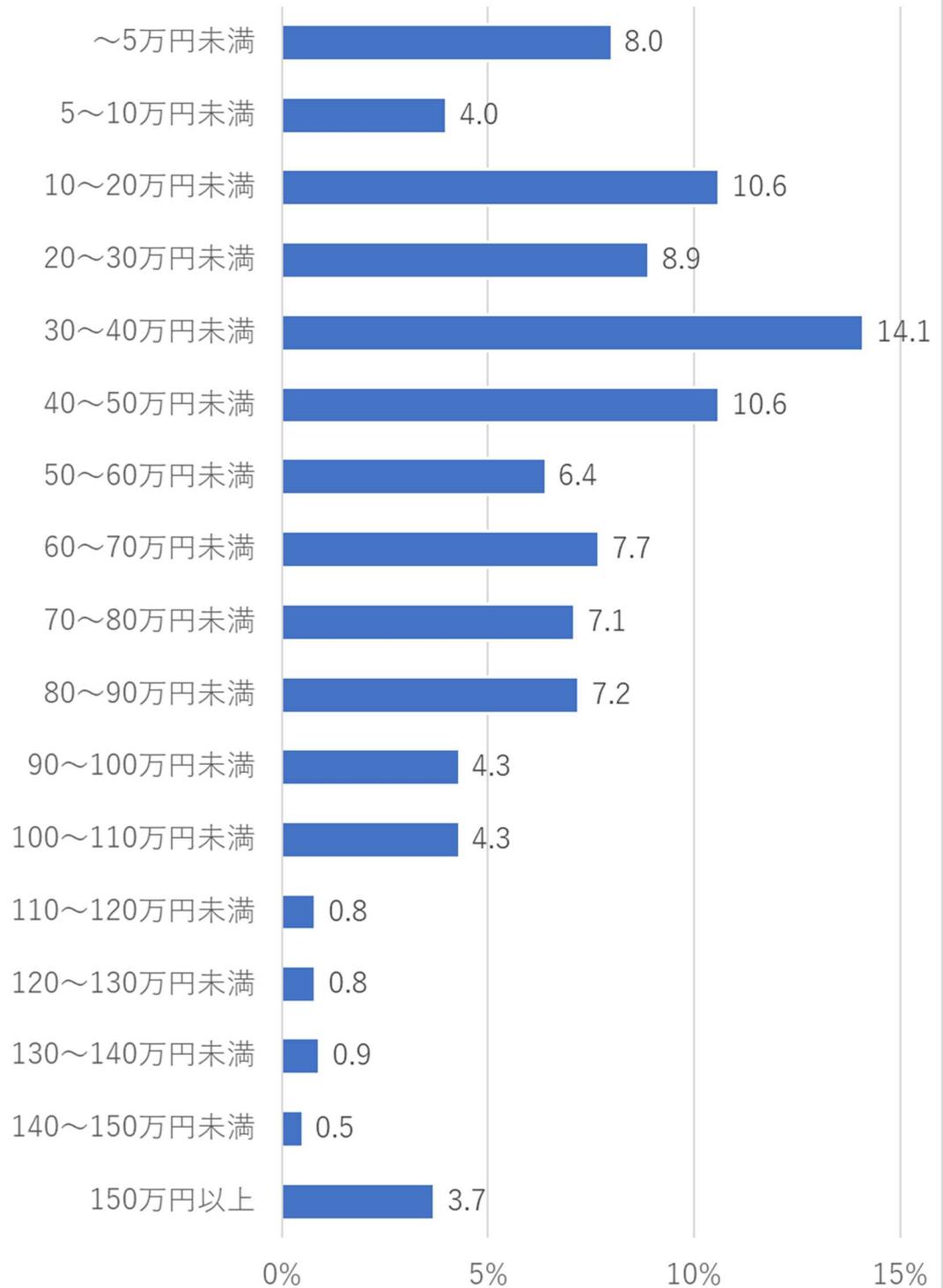
単一回答



問13 通常月の月収

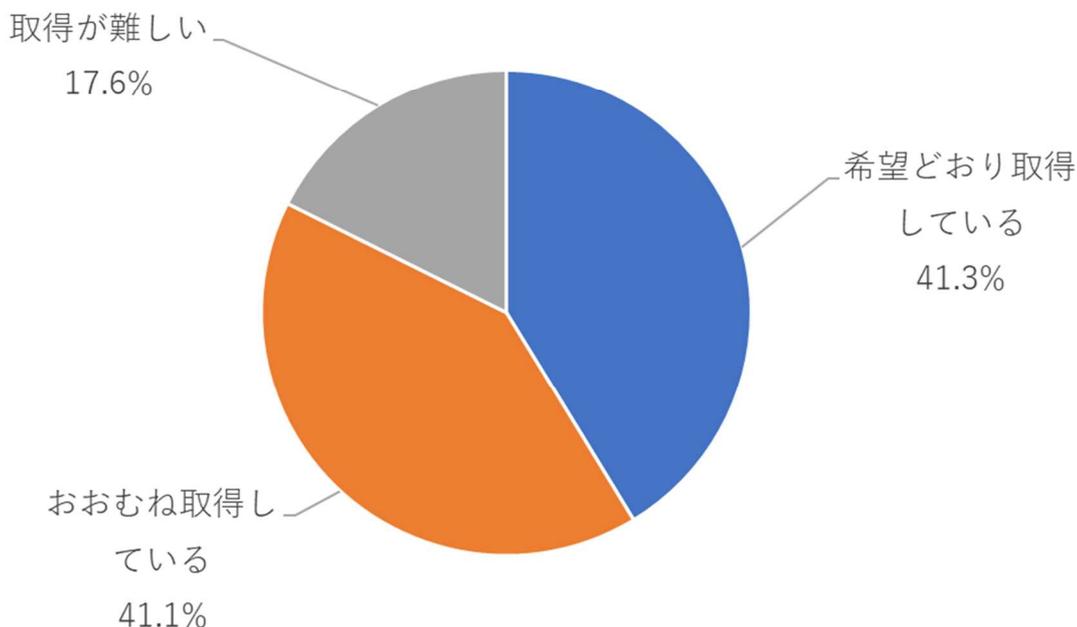


問14 直近1年間の賞与（ボーナス）の金額



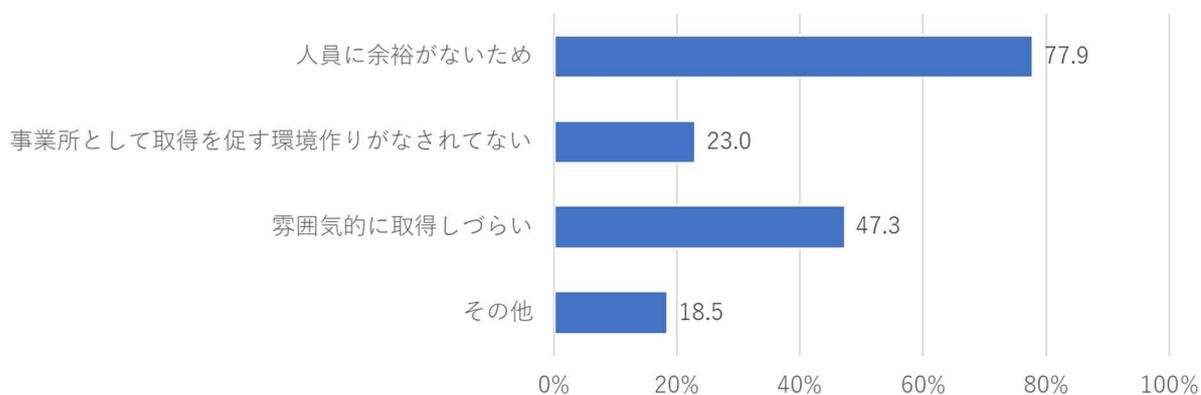
問15 有給休暇は希望に沿って取得できているか

単一回答



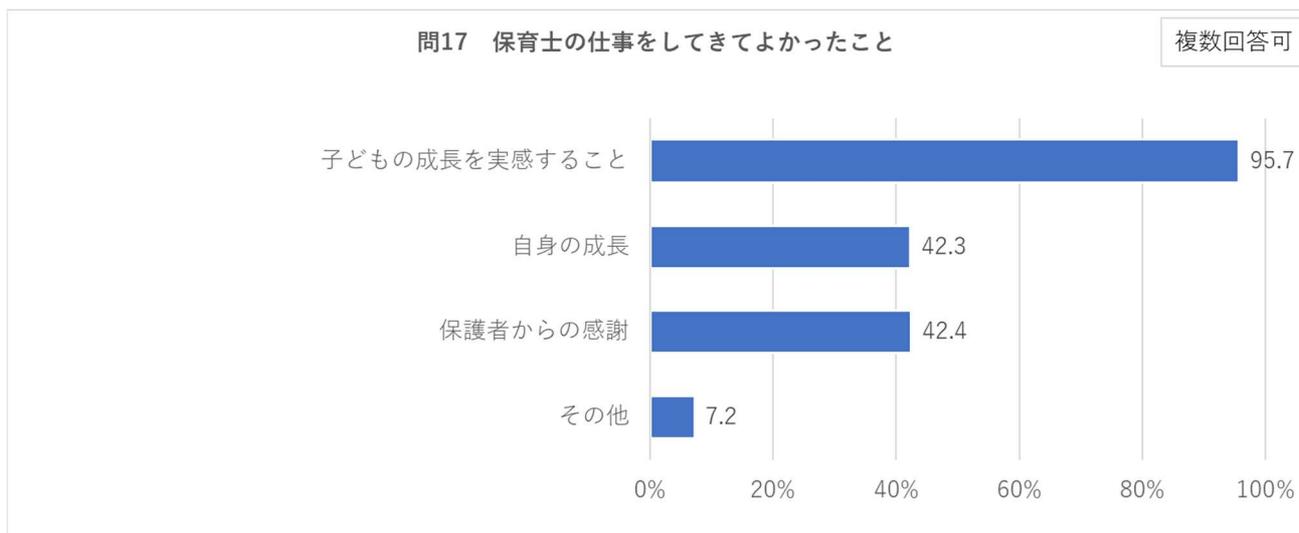
問16 問15③≫取得が難しい理由

複数回答可



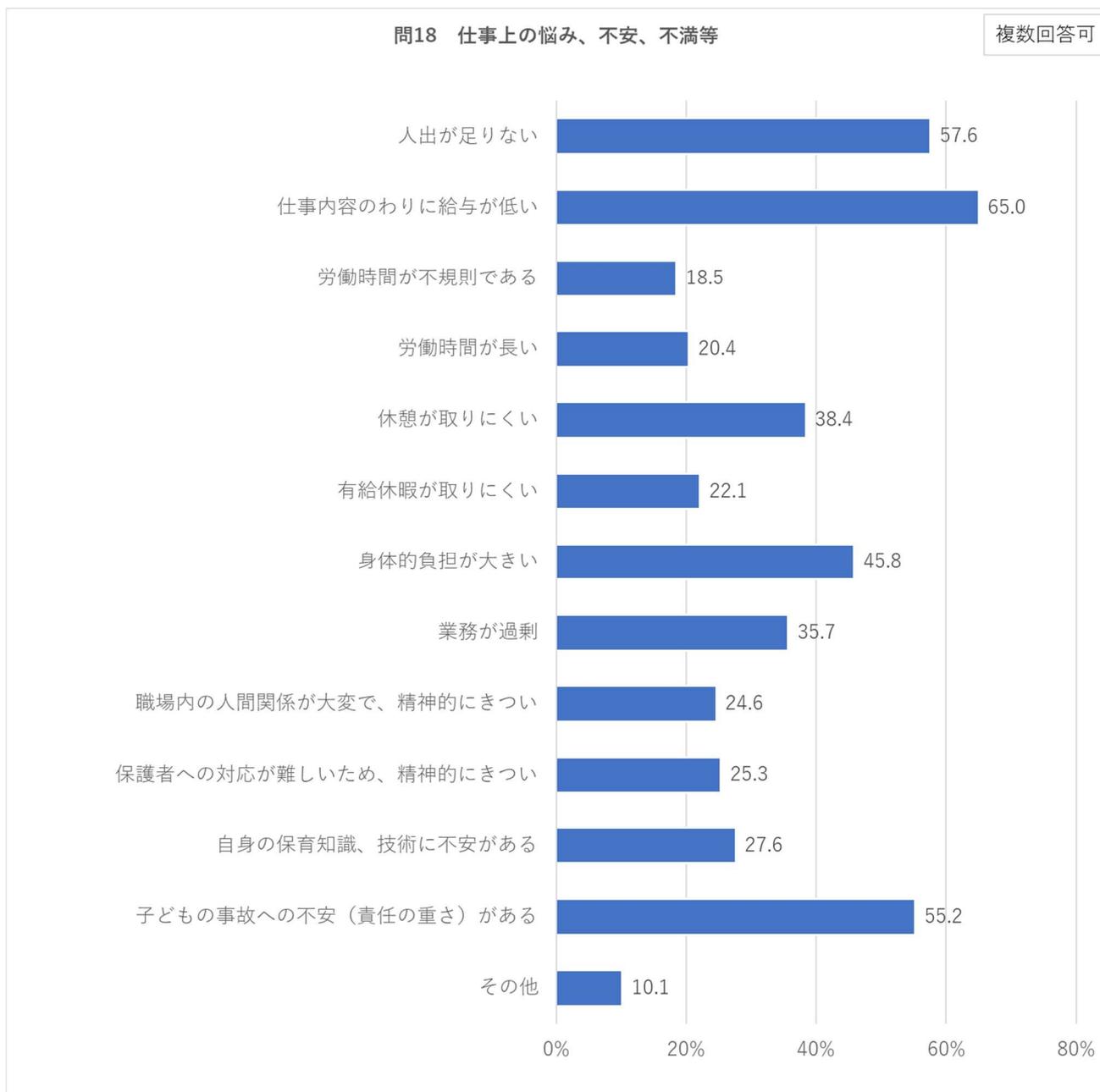
問16 その他意見（抜粋）

性別	年齢	経験年数	意見
女性	30歳代	10～19年	希望日に行事が入っていると休みが取れない。
女性	50歳代	30年以上	業務が多すぎて休めない。
女性	30歳代	10～19年	有休を取る理由を聞かれるから取りづらい。
女性	30歳代	10～19年	休みたい日を伝えても、代休で取るように勧められる。
女性	50歳代	20～29年	体調不良の時は休めるが、私用の時は、他の人は休んでいないのだからバランスを考えてと言われ、取らせてもらえない。



問17 その他意見（抜粋）

性別	年齢	経験年数	意見
女性	60歳代	20～29年	子どもとのやりとりや関わりの中で感動することが多い。
女性	50歳代	10～19年	子ども達が「先生好き」って言うこと。
女性	50歳代	30年以上	子育て支援の仕組みや奥深さを知った。人権感覚の視野が広がった。
女性	30歳代	10～19年	保護者との共感。
女性	40歳代	20～29年	毎日笑いが絶えない、幸せな時間を過ごせること。
女性	40歳代	10～19年	作ることが得意で、作った玩具で園児が楽しそうに遊んでいる姿を見られる。
女性	50歳代	20～29年	卒園式に子どもから感謝の言葉をもらったとき。
女性	60歳代	30年以上	子どもと一緒に体を動かすので健康でいられる。
女性	60歳代	30年以上	子どもからエネルギーをもらい、頑張ろうと思う。働ける根源。
女性	40歳代	20～29年	卒園した児童が施設に顔を出しに来てくれる。
女性	30歳代	10～19年	保護者や職員と子どものためにより良いことを模索して連携する楽しさを味わえていること。誠実に働く同僚、上司の姿勢を目近に見て刺激を受けられること。
女性	30歳代	10～19年	自分の特技を生かすことができる。
女性	30歳代	10～19年	子ども達との会話で、知らなかったキャラクターやアニメを知ることができる。子ども達のおかげで色々なアニメにハマりました。



問18 その他意見（抜粋）

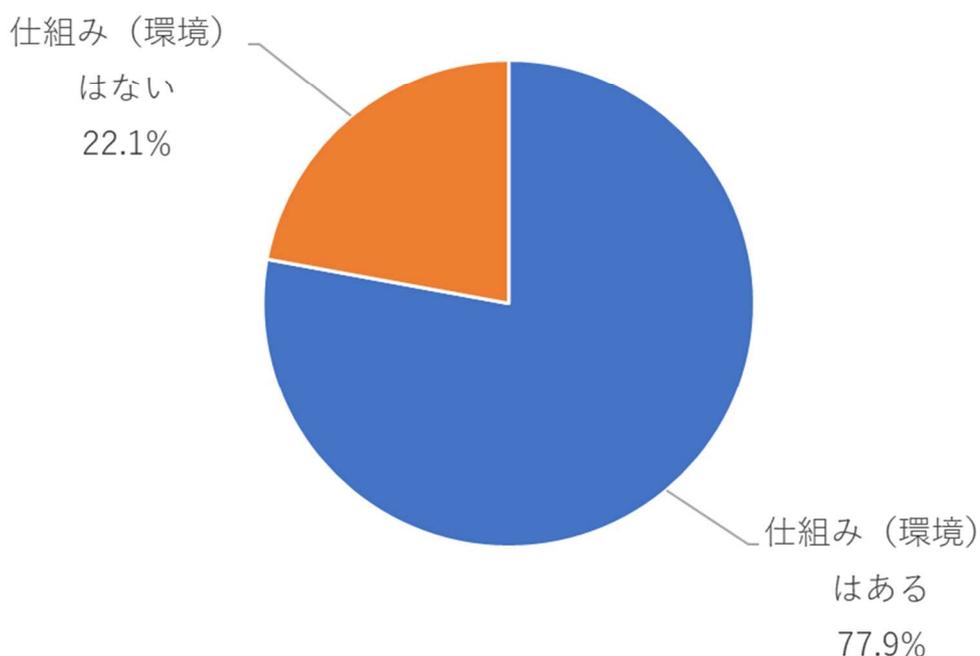
性別	年齢	経験年数	意見
女性	40歳代	20～29年	コロナで仕事量が増えた。タブレット導入でついていけないか不安。
女性	50歳代	20～29年	障がい児との関わり方。
女性	60歳代	30年以上	若い人を指導する立場にあるが、若い人を育てていく難しさを感じている。
女性	40歳代	20～29年	サービス残業の多さ。業務量が多く勤務時間内に終わらない。帰れない。
女性	30歳代	10～19年	スキルがあっても評価されない。能力給のようなものがない。雑用が多い。子どもの看護休暇が無給休暇。支援が必要な子が多く、保育をする中で精神的にしんどい。
女性	30歳代	10～19年	非正規の保育士が多く、それで保育現場が何とか回っているのに、非正規のボーナスゼロはおかしいと思う。非正規も、日誌・児童票・副担などかなりの仕事をしている。
女性	20歳代	5～9年	毎日のように会議又は研修、無い時は草取りなど、ノートを書く時間もままならない。その上時間内に仕事を終えるのも実力のうちだと言われるが、できません。
女性	20歳代	1～4年	事務仕事が難しい。
女性	50歳代	20～29年	勤務時間内に帳簿や月案作成などの事務作業ができない為、打刻をした後残って仕事をしている。ほとんどの先生がサービス残業をしている。
女性	20歳代	5～9年	残業代がつかない。タイムカード等、出退勤時間の確認がなく、実勤務時間が不明確。
女性	60歳代	20～29年	保護者からのクレームが多い。保護者が育児に対して無関心。預ければなしで園任せ。

令和5年度保育人材確保・定着に関する実態調査 調査結果詳細（現役保育士）

女性	20歳代	1～4年	不適切保育に過敏になる。
女性	30歳代	10～19年	書類が多い。勤務時間に事務仕事をする時間の確保が難しい。
女性	50歳代	20～29年	発達障がい児やルールを守れない、話が聞けない等の子どもが増えてきているが、職員の配置基準は変わっておらず、一人一人に応じた保育が出来ず精神的、肉体的ストレスが大きい。子どもは保育園に預けられる時間が増えていて、親からの愛情不足で自尊心が低く、保育士に甘えてくる子どもが多い。
女性	30歳代	5～9年	園児が少ないので、人手も減ってしまい、混合クラス（未満児と以上児）になってしまうこと。早番、遅番などすぐに回ってくること。行事が大変。
女性	30歳代	10～19年	子どもへの言葉かけ、仲裁等の時の対応の仕方などが大変で、言葉選びに苦労する。

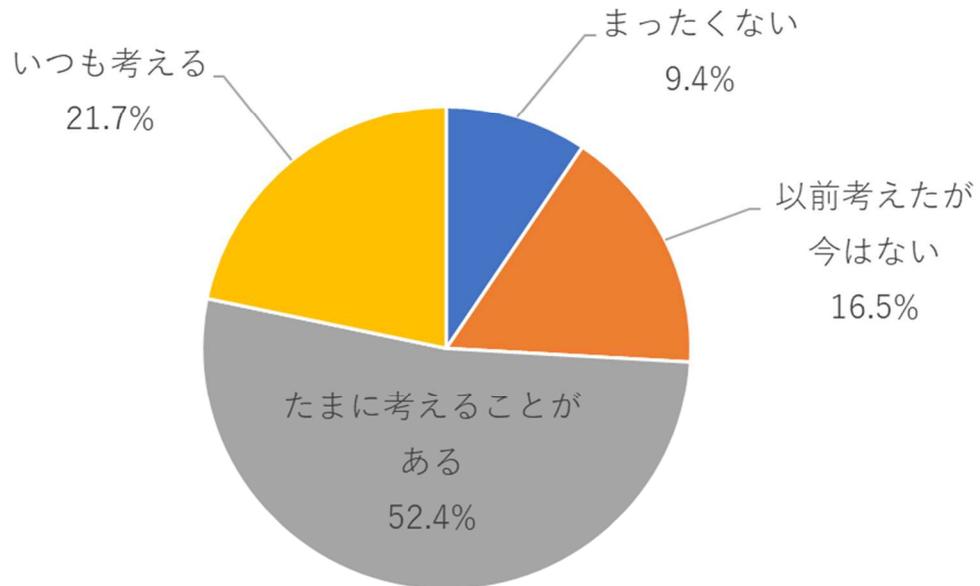
問19 悩みや不安を職場内で相談する仕組み（環境）はあるか

単一回答



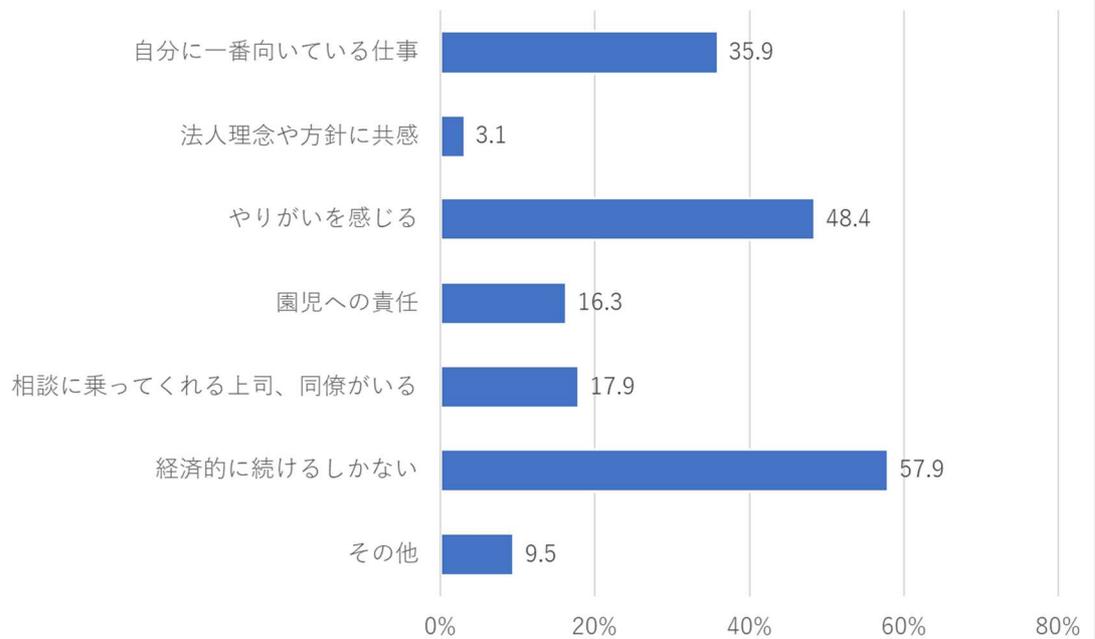
問20 仕事を続けるのが難しい（辞めたい）と考えたことがあるか

単一回答



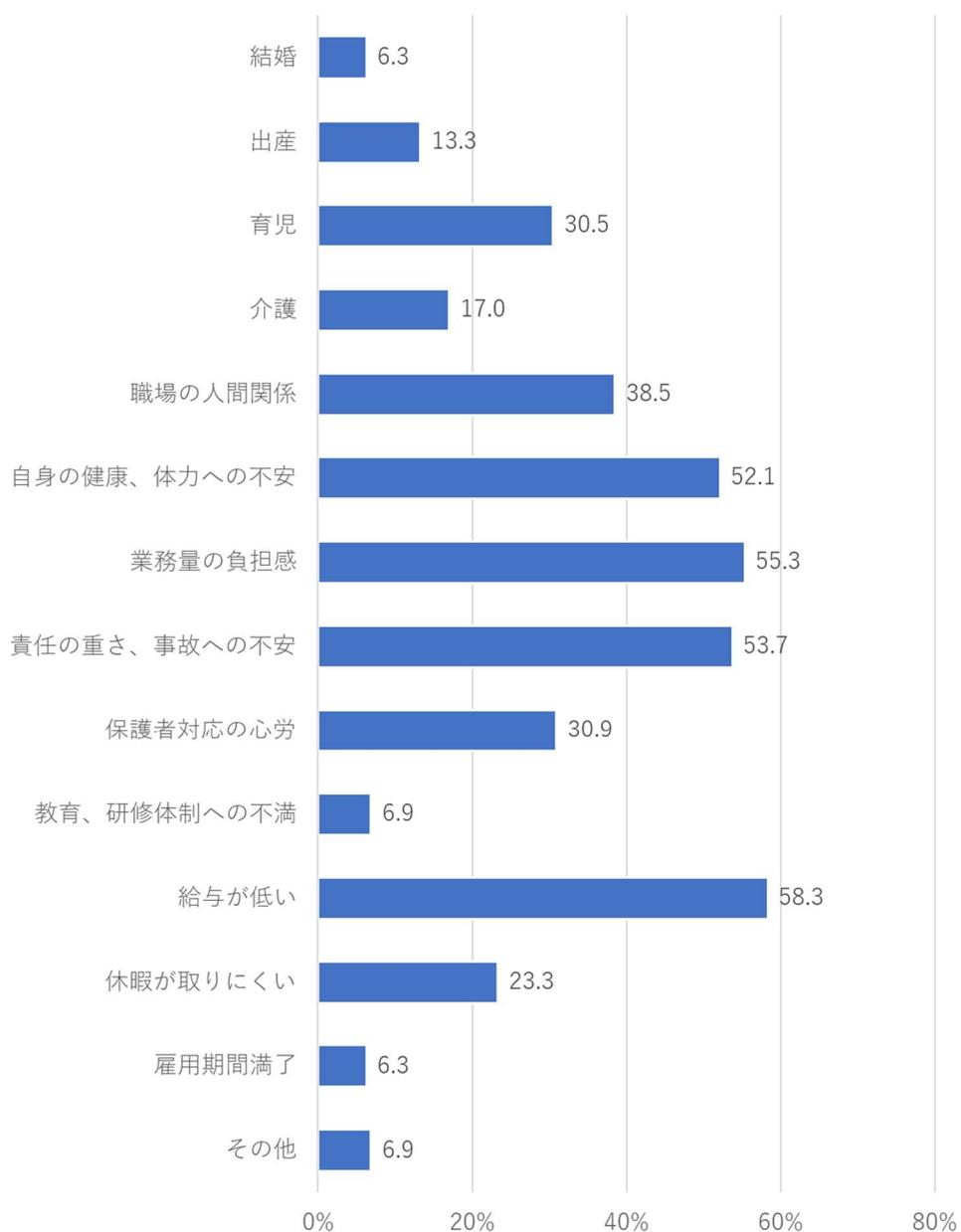
問21 仕事を続けてきた理由

複数回答可



問22 問20③④≫仕事を続ける上で困難に感じること

複数回答可

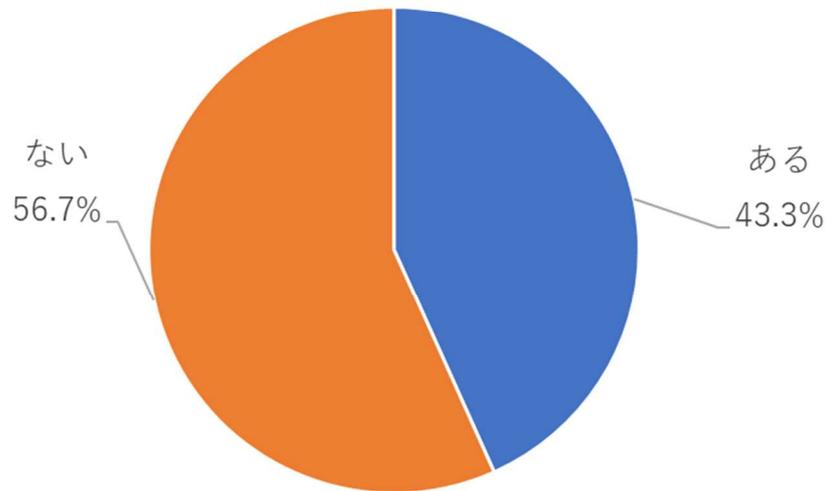


問22 その他意見（抜粋）

性別	年齢	経験年数	意見
女性	60歳代	20～29年	自身の保育技術に不安がある。
女性	40歳代	20～29年	非常勤として働いているが、主となった保育をすることがないので、やりがいなくなってきた。時差勤務、早番遅番、フルタイムが難しいので非常勤で働くしかない。
女性	30歳代	10～19年	家庭が犠牲になっている。人の家の子どもを見て、我が子を見るができない。
女性	50歳代	30年以上	孫が発熱などの時、急に休みがとりにくい。度重なると休みを言い出しにくい。
女性	30歳代	5～9年	不規則勤務。
女性	40歳代	20～29年	保護者優先で保育士の人権は二の次。保育士の人権も守ってほしい。
女性	30歳代	10～19年	昇級の基準が分からない。仕事や子どもに対して責任感の低い人や上司に気に入られている人が昇級するのを見ると嫌になる。

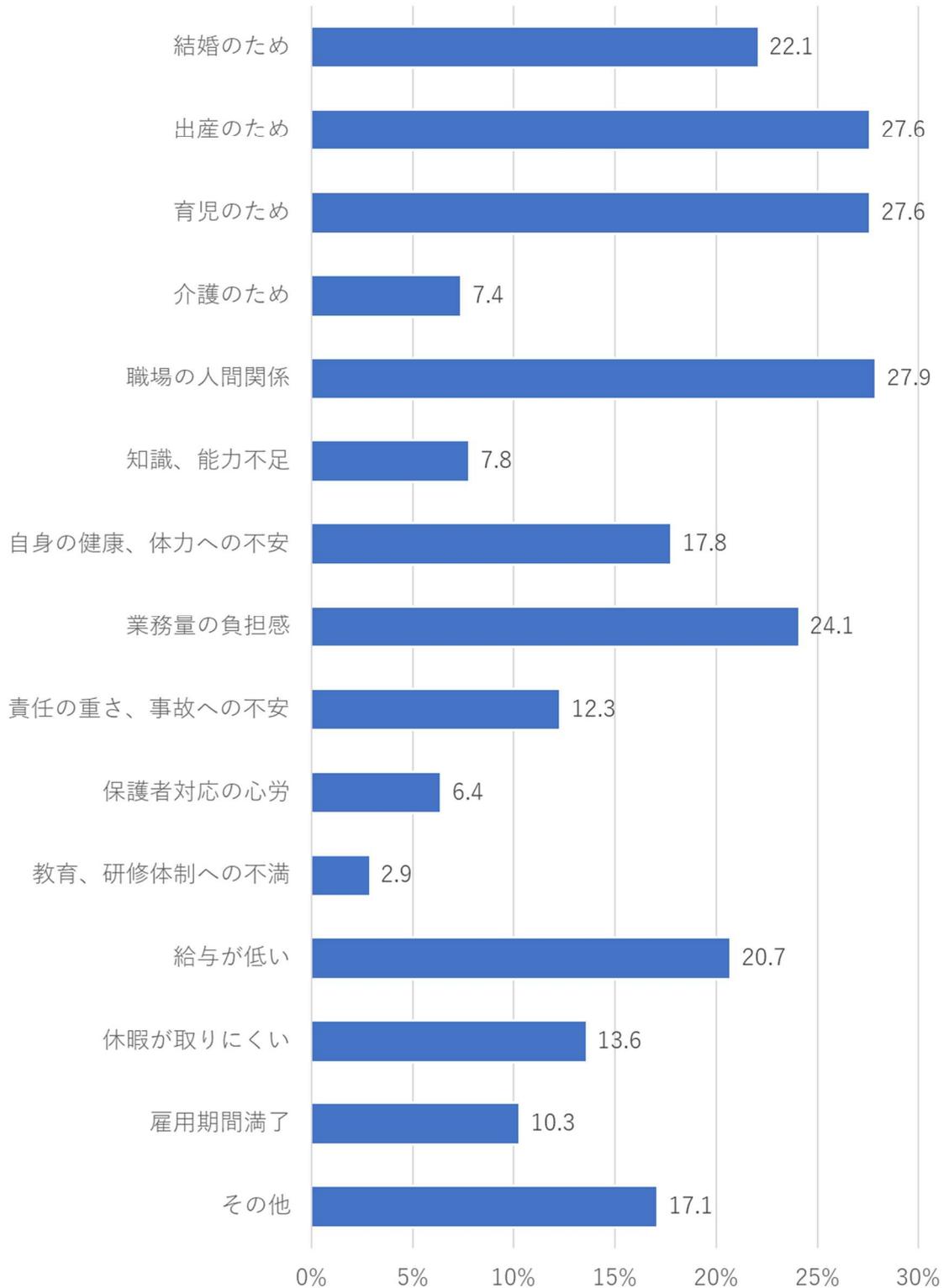
問23 保育士の仕事を辞めた経験があるか

単一回答



問24 問23①≫離職した理由

複数回答可



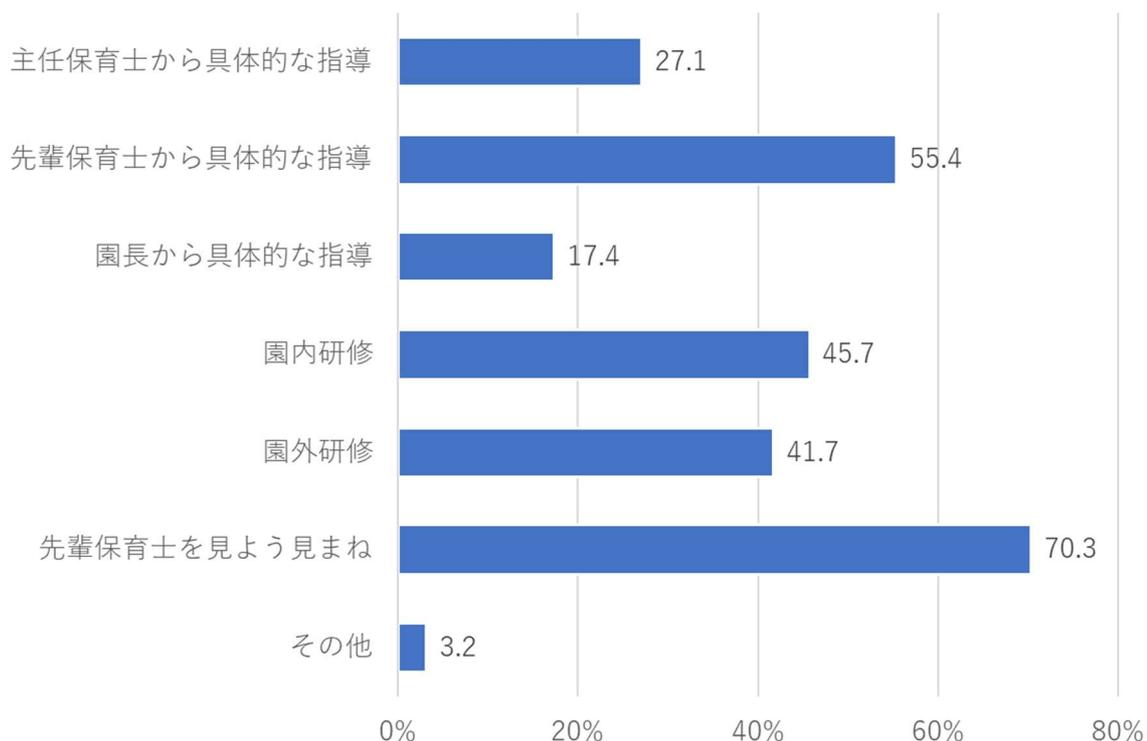
令和5年度保育人材確保・定着に関する実態調査 調査結果詳細（現役保育士）

問24 その他意見（抜粋）

性別	年齢	経験年数	意見
女性	40歳代	20～29年	パワハラ。
女性	30歳代	5～9年	他の仕事がしてみたかったから。
女性	40歳代	10～19年	夫の転勤のため。
女性	40歳代	20～29年	昔働いていた頃は、今のようにやりがいを感じられていなかった。
女性	40歳代	5～9年	保育の考え方が合わない。
女性	30歳代	5～9年	業務量の多さ。仕事と育児の両立が難しい。

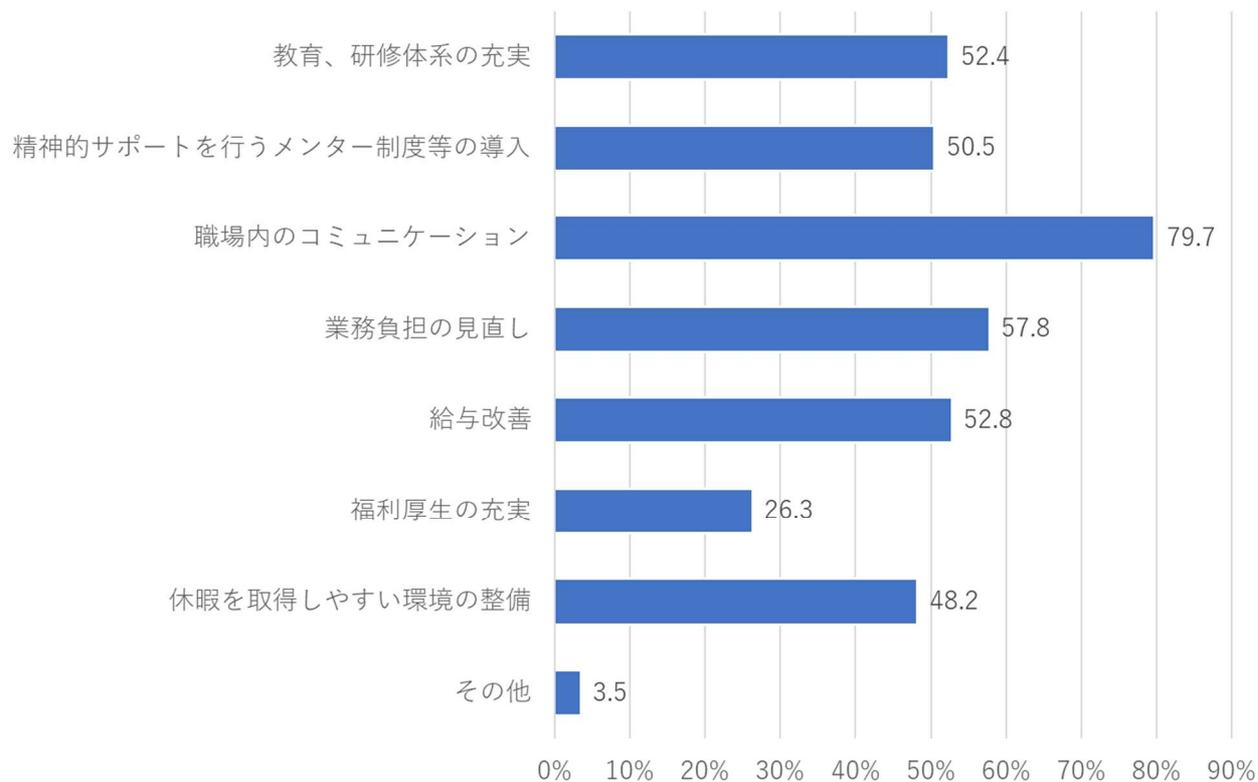
問25 新人の頃に受けた育成支援

複数回答可



問26 新人保育士の育成・定着支援に必要なもの

複数回答可

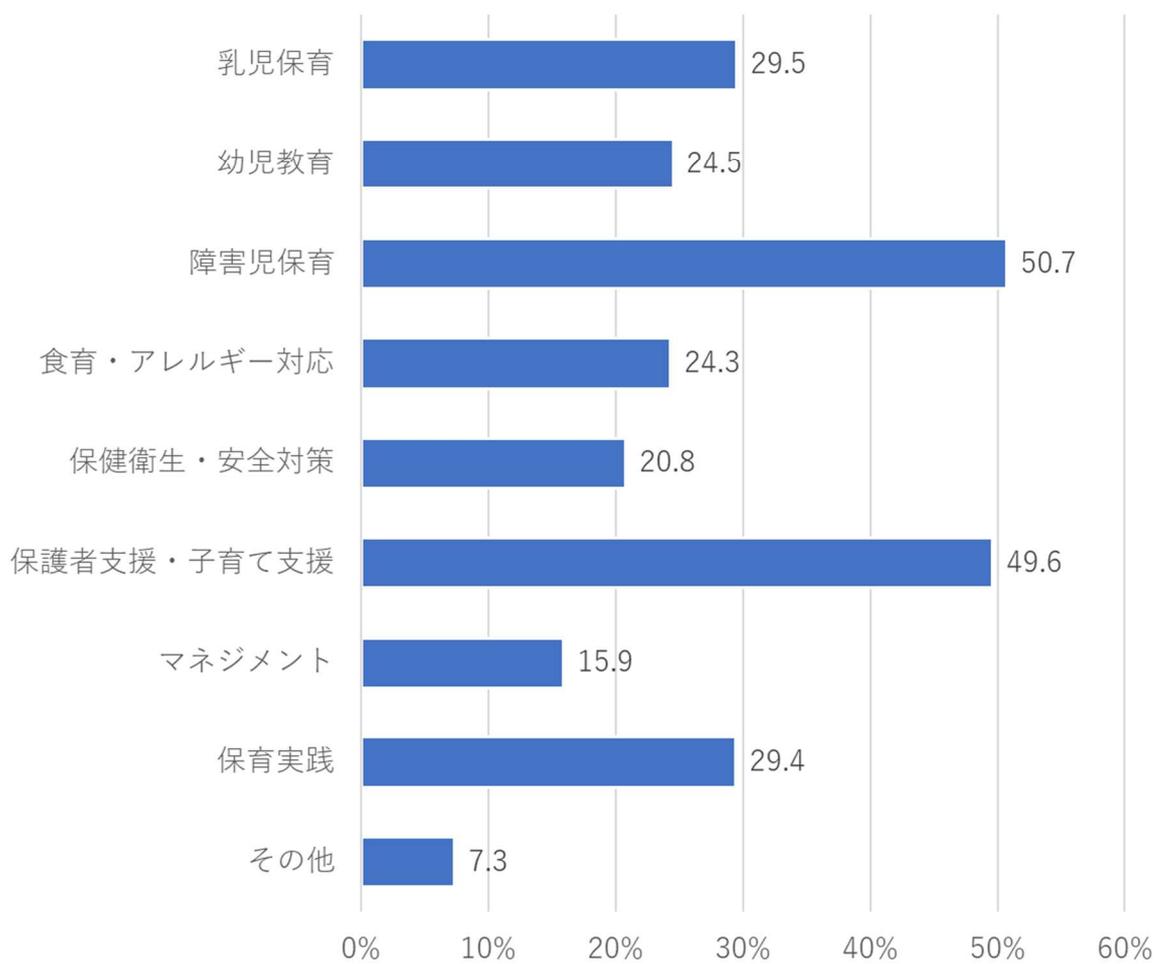


問26 その他意見（抜粋）

性別	年齢	経験年数	意見
女性	40歳代	20～29年	新人保育士も職員配置1人分となり、負担が大きい。
女性	40歳代	1～4年	できるなら担任でなく補助で1年する。覚えること、仕事量が多すぎ。保護者も厳しい。他の職員も早く育ててほしいために厳しくなってしまう。
女性	40歳代	20～29年	実習の時に「負担をかけない」「叱らない」など、現実から離れた実習をさせることにより、いざ現場に入った時に「こんなはずじゃなかった」となっている。
女性	20歳代	1～4年	何もわからないまま現場に入れられ、いきなり仕事をするように言われても難しい。一つずつ丁寧に、初めの一週間だけでもいいから、そばに誰かがついて教えてほしい。
女性	30歳代	10～19年	就職前の学校指導の強化も必要だと思う。
女性	50歳代	30年以上	孤立しない為の職場チーム、新人チーム同士の互助会。
女性	50歳代	20～29年	1年目は保育士1人としての働きは難しいと思います。いきなり正職として働くと、不安やストレスを感じ、辞めたいと思うようです。新人保育士は、半年くらいは研修期間として現場で学ぶことを中心として、本人が保育士の仕事を覚え自信を持ち、仕事ができるようになれば辞める確率が減るように思います。
女性	30歳代	10～19年	正規職員は書かなくてはいけない書類が多すぎる。私は非正規だが、正規職員は毎日何かと書類を作成したり入力したり、業務が多様だなあと感じる。

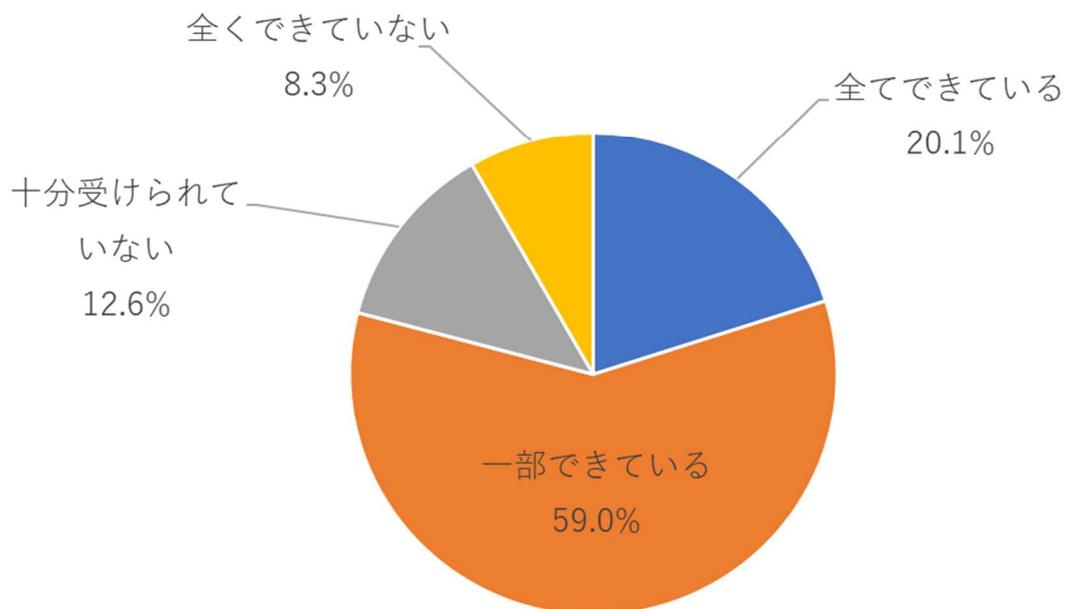
問27 今後学んでみたい研修内容

複数回答可



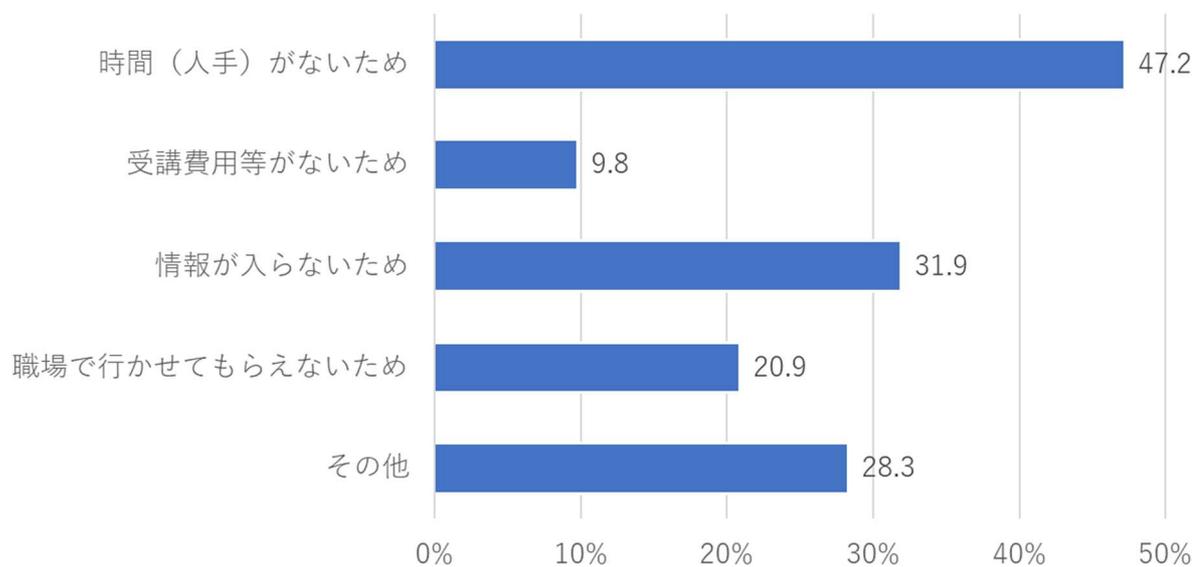
問28 学びたい研修を受けることができているか

単一回答



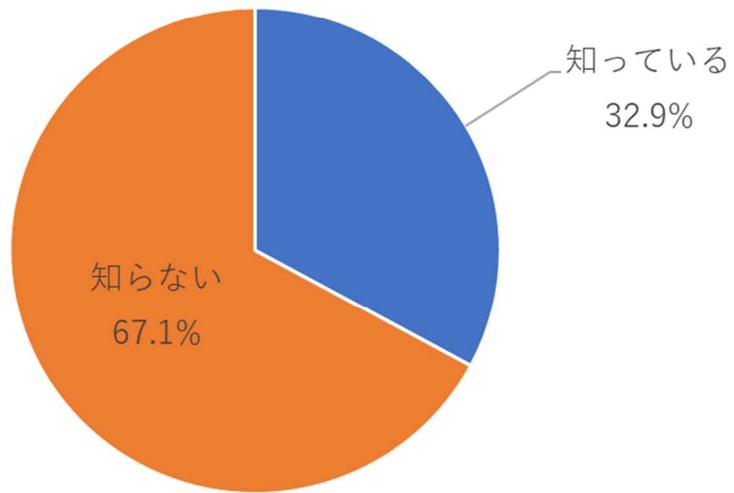
問29 問28③④≫できないとした理由

複数回答可



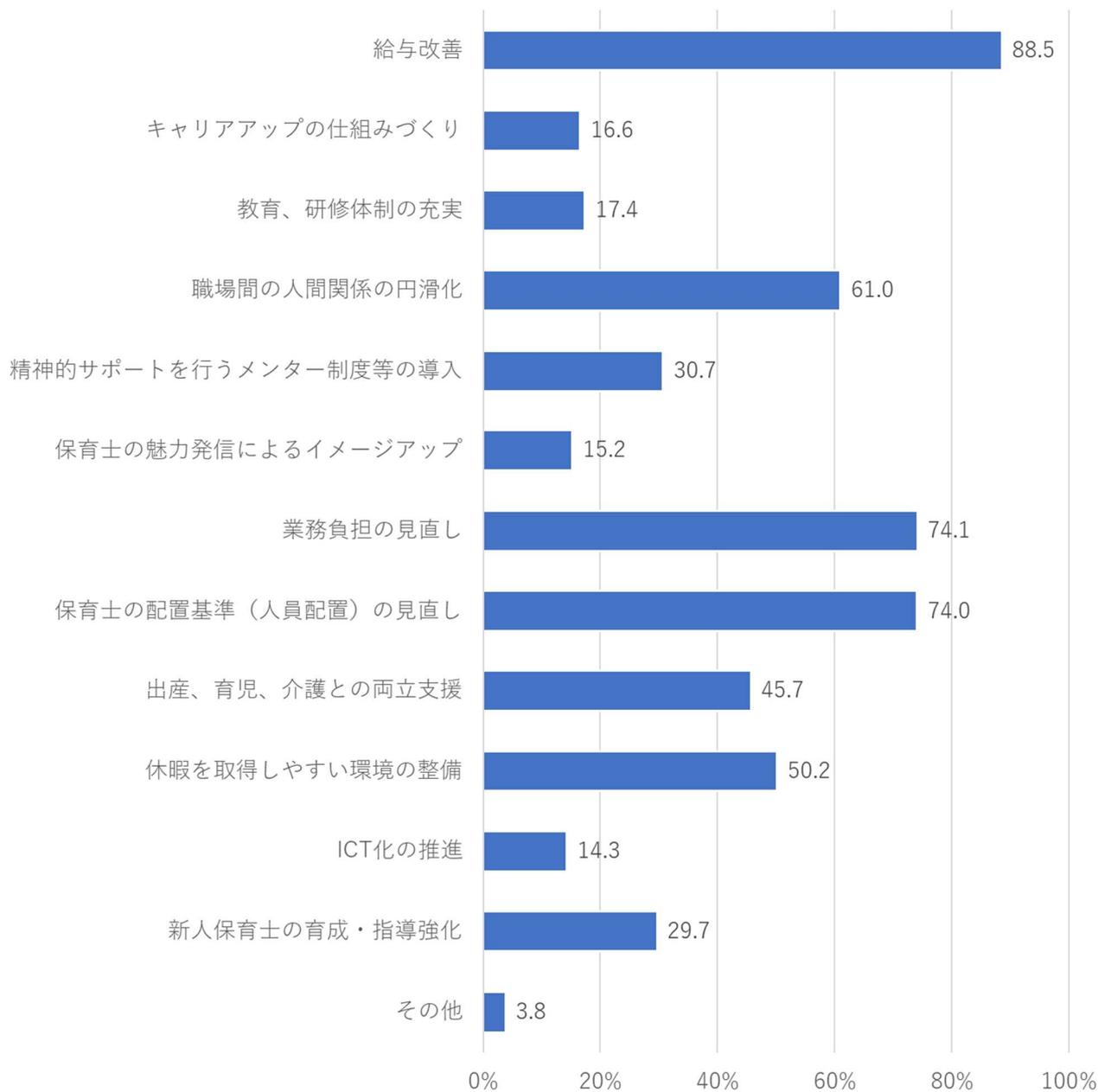
問30 「保育士・保育所支援センター」を知っているか

単一回答



問31 保育士確保・定着のために必要なこと

複数回答可

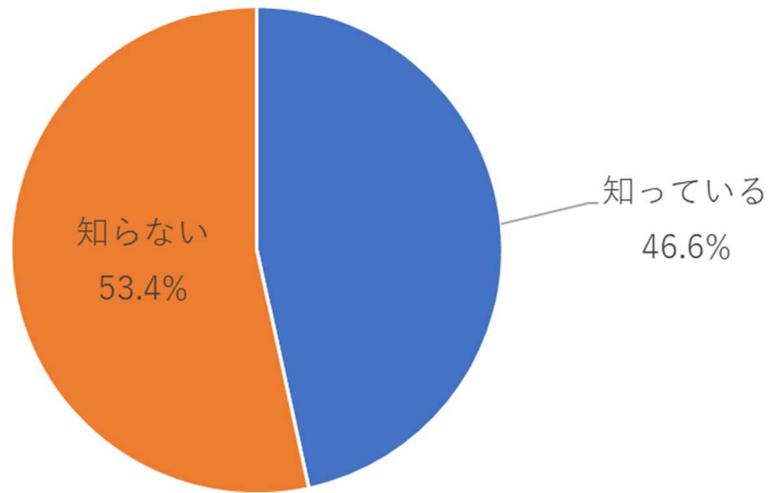


問31 その他意見（抜粋）

性別	年齢	経験年数	意見
女性	40歳代	20～29年	全てにおいて人員が足りていないことにより起きていると思います。
女性	50歳代	5～9年	パートにもボーナスが欲しい。
女性	30歳代	10～19年	保育時間の見直し。時間外勤務全てに手当を付ける。
女性	40歳代	20～29年	園児数だけでなく保育士数のことも考えた統廃合を急いでほしい。
女性	30歳代	10～19年	業務の大変さをもっと知ってもらい、サポートや守られている安心感がほしい。
女性	60歳代	1～4年	保育士の地位向上。資格取得のための教育の充実。（4年生大学卒業等）
女性	30歳代	10～19年	職場復帰後すぐ担任を任されるのが負担。
女性	30歳代	10～19年	保育士は業務が多くて負担というイメージなので、業務内容を見直したらいい。

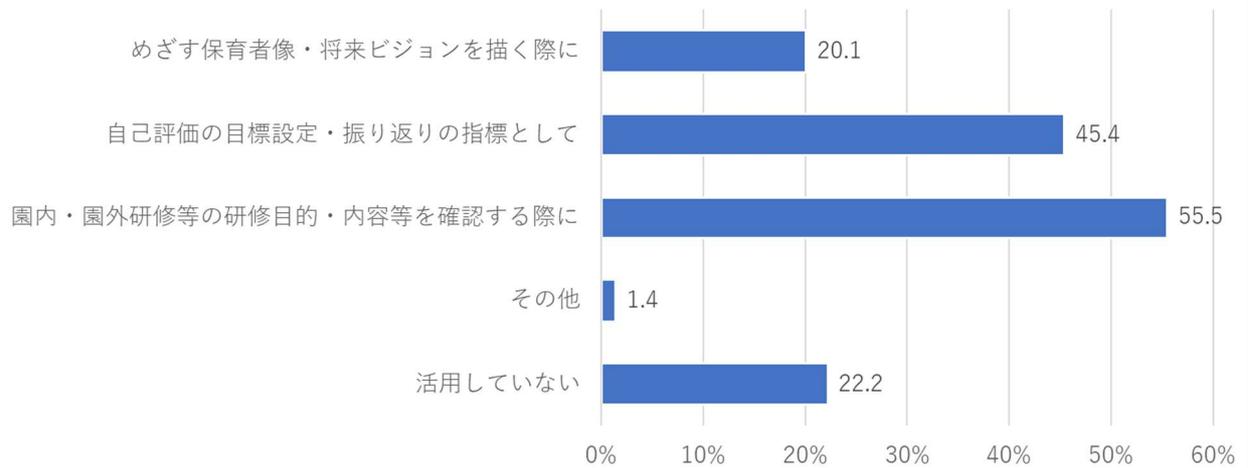
問32 「鳥取県保育者キャリアガイドライン」を知っているか

単一回答



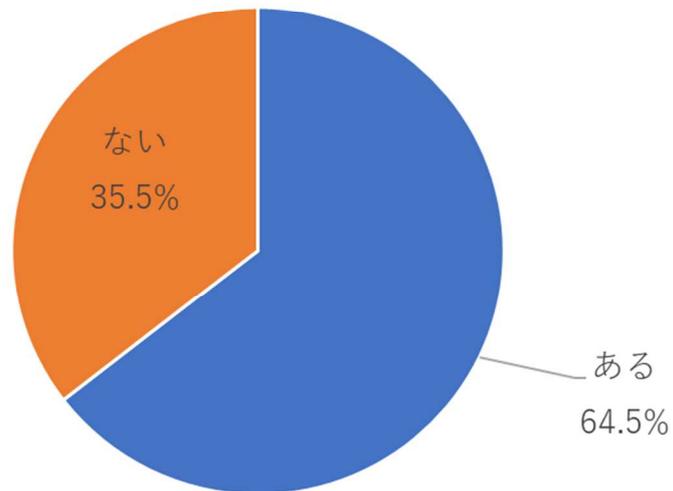
問33 問32①≫どのように活用しているか

複数回答可

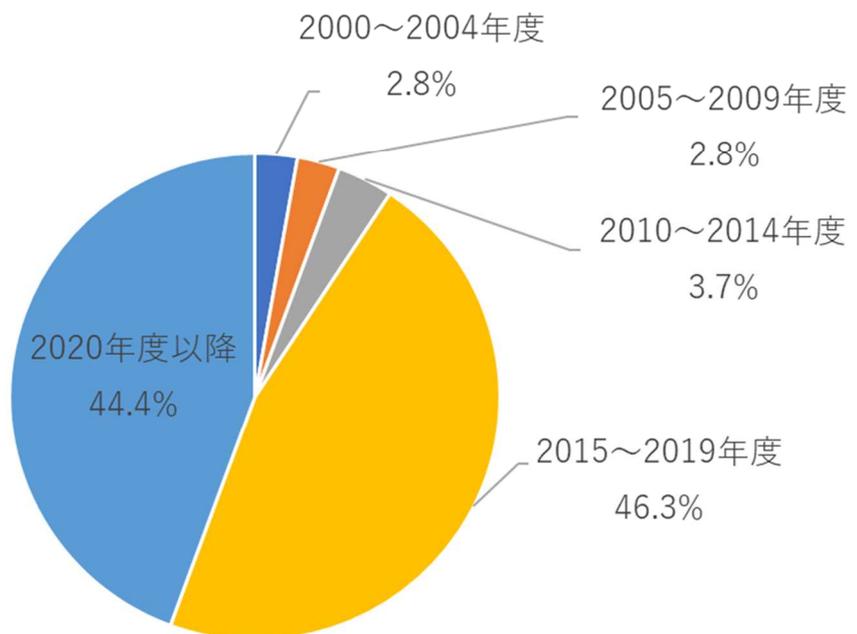


問34 あなたの保育施設でキャリアアップの仕組みがあるか

単一回答



問34 いつからキャリアアップの仕組みがあるか：年度



令和5年度保育人材確保・定着に関する実態調査 調査結果詳細（現役保育士）

問35 その他、保育人材確保・定着に関する意見（抜粋）

性別	年齢	経験年数	意見
女性	30歳代	10～19年	新人保育士確保のため給与を上げているが、現役保育士へ回ってきていないように感じる。責任や職務内容（帳簿など）に対して給与が低い。ハードな仕事のイメージ。時代と共に子ども・保護者の質も変わっているため、人員配置は見直してほしい。
女性	30歳代	10～19年	自分の失敗（ミス）を上司に言わない、よくわからないのに「わかった」と返事をする新卒の方がいる。人としての基礎（わからないことを聞こうとする姿勢や、ミス等を伝えようとする姿勢等）を育成していくことも大切だと思う。
女性	50歳代	1～4年	辞めていく保育士はほとんど人間関係の悪化である。同僚・上司・保護者・園児。精神的に病むと、次は家族も巻き込んでしまう。不安や問題を抱えておられる家庭とは関係を築くにも時間を要したり、難しい場合も多い。そうした場合、保健所や児相、教育委員会や福祉など社会全体で、子育て等の環境に連携や整備が必要。
女性	40歳代	20～29年	親が働いていなくても保育所に通えるようになることを政府が検討しているようですが、それに伴う保育者の負担が心配です。企業では有休20日消化を目指しているところもあるようですが、保護者の利用時間（土曜日も含め）の要望は膨らんでいますので、夕方の職員人数、土曜日職員人数の確保が本当に厳しいです。その中でたくさんの帳簿、行事があり、業務に追われる日々です。配置基準を上回る人員配置を切に願います。
女性	60歳代	20～29年	昔と今では子どもの質が変わり、手のかかる子ども、発達障がいの子どものも増えて現場は本当に大変です。人員配置の変更と給与の早急な見直しをお願いしたい。
女性	60歳代	20～29年	仕事が多すぎる。研修するところではない。保育・掃除・消毒・草取りなど、することはもっとある。専任の職員（保育以外の）がいてほしい。
女性	30歳代	10～19年	働く時間が長すぎて、我が子との時間が持てないため、保育士を辞めたいと常に思う。とても素晴らしい職だと思うが、我が子との時間を削って他人の子どものために尽くす日々で、今しかない子どもの成長を見逃し気味。職場からは残業はダメと言われるが、残業しないと事務仕事や行事の準備はできないから、無償残業をしないと日々回らない。子育てをしている保育士も働きやすい環境を願います。
女性	40歳代	5～9年	保育の仕事に希望が持てるような情報発信。給与の大幅な見直し。人間関係の大変さは外に見えず、我慢するしかない現状がある。第三者に安心して相談できる場、人間関係のトラブルを伝えられる場はどこでしょうか。保育士・保育所支援センターの“保育現場のメンタルヘルス専門相談”に電話（直通）があったらTELしたかも。
女性	20歳代	1年未満	とにかく人手が足りていない。1年目だが、3月末から担任を任せられ不安いっぱい毎日であった。サポートに入ってくれる職員がいてくれたらよかった。
女性	30歳代	5～9年	新人職員の給与は多いが、中堅以上の給与は増えず、仕事量の負担だけが多くなっている。そのため、どんどんベテラン・中堅の職員が辞めていっていることが現状。若手が増えることは嬉しいが、上の保育士が辞めていくと、残っている中堅・ベテランの仕事量が増えてしまっている。業務も多いためサービス残業をしていることも現状。
女性	30歳代	10～19年	土曜日に仕事ではない方が一日中預けるのが増えてきたと感じる。そのため土曜日に保育士が必要となり、平日に公休を取得するため、人員不足となってきている。土曜の利用をもう少し取り締まるべき。休日保育同様、代替休日や保育料を取っていただくべきと感じる。夏季休暇時は、保育士配置を県基準ではなく国基準ですと言われ、大変。各園（全国）に事務員を設けるべき。保育士としての業務以外のことが多すぎる。
女性	30歳代	10～19年	資格保有者と資格無し（支援員）との給与の差があまりにも無さすぎる。資格保有者の給与を上げるべきだと思う。
女性	60歳代	30年以上	言い方ひとつでパワハラと言われると、伝えたくても言う気を失う。見て学ぶ、聞いて学ぶ姿勢が見えない若者が多く思う。
女性	30歳代	10～19年	子育て世代（30～40代）など、一番の働き手の時期に、早番・遅番ができないため正規で働けずキャリアアップできない現実があり、給与が少ないため離職が多い。非正規にも少しでもボーナスを出すなど給与面の改善が必要だと思う。
女性	50歳代	5～9年	研修を受けると所感やレポート提出があるが、持ち帰って自宅で書かねばならなくなるので研修には行かない。受講するだけでOKならたくさん行きたいです。職場では言いにくい本当のところをアンケート調査していただけたことが何より嬉しかったです。
女性	50歳代	20～29年	保育の多様化により書類が増える。預かり時間が長くなることで保育士の負担が多い。園児と関わる時間が増えると我が子との時間が少なくなってしまう。現場の声をしっかり聞き取り、若い方が働きやすい職業となるように改善してほしいです。
女性	50歳代	5～9年	心の病気で休職したり退職する人が増えている。仕事量や責任の重さもあると思うが、人間関係が良くない。パワハラもある。主任や園長など上に立つ人の意識を変えてもらうような講習をして、園内の環境を良くしてほしい。ニュースなどで保育士のイメージダウンもあるので、イメージを良くなることもしていく必要がある。今の雰囲気では「保育士をしています」というのはなるべく言いたくない。

令和5年度保育人材確保・定着に関する実態調査 調査結果詳細（現役保育士）

女性	40歳代	10～19年	保育業務以外の事務仕事が多すぎる。研修等も必要なのは理解できるが、研修を行うための資料づくりや、時間設定など負担も多くなる。研修や事務仕事に追われてしまい、一番大切なことが後回しとなっている現状がある。
女性	30歳代	10～19年	上に立つ者が「自分達の頃は…」と言っているうちは何も変わらない。また、それ自体がパワハラになって下の人間に圧をかけていることに気づいていない。新人の育成以前に50代以上の職員の研修等も必要なのではないでしょうか。生活がまともにはできる賃金と休日が必要。家庭が犠牲になっており、何のために仕事をしているのか。
女性	30歳代	10～19年	市町村職員の賃金は低すぎる。ボーナスがあるから良いだろうではない。人の家の子どもの命を預かっている責任からすると安すぎる。他の都道府県と比べ基本給が低い。低い給料しか出ない鳥取県で働こうとする若者はいないから、みんな県外に出て行っている。正規で働く人間をどう守っていくか考えてほしい。
女性	50歳代	30年以上	給料アップ。育児しやすい体制。勤務時間の改善。今、保育現場は20～40代の人が多く、50代が現場をまわしています。あと10年後、保育者がいなければ現場もまわらなくなるでしょう。子育て中の保育士が働きやすくしてほしい。
女性	30歳代	10～19年	人材不足から正職員の負担が増えている。短時間勤務や資格のない人は来るが、結局、保護者対応や書類は全部正職員か若い臨時の先生。午睡時間に会議をすれば、子どもの連絡帳も保育時間に書き、休憩は全くありません。余裕なく働き、子どもへの口調がきつくなればすぐ虐待だと報道される。子ども達を叱らず、ただ見ているだけでいいのですが、それで小学校に上がったなら集団として子ども達は生活できていくのか。保護者におびえながら、ボイスレコーダーが仕込まれているのではないかと心配しながら保育するのは苦です。私達を守ってくれるのは誰ですか。子育て王国を名乗るのであれば、保育士の配置基準の見直しをして、給与アップに取り組み、働きやすくしてほしい。
女性	50歳代	30年以上	若い保育者（全てではありませんが）は、給与・休みがあればいいと思っています。私達が就職した頃は保育士の給与は安かったので、今は色々と手当もついて良くなりました。とってもらいたいと思っていますが、若い子はなかなか難しいかもしれません。
女性	20歳代	5～9年	現役保育士の保育に対する考えのアップデートが大切だと思います。「こうじゃないとダメ」「今までこうしてきた」という先輩の考えの下で働く苦しさ、疑問が離職に追いやってしまうのではないのでしょうか。新人だけでなく、ベテランの保育士にこそ、研修や学び直しの機会が必要です。
女性	50歳代	10～19年	とにかく給料、社会的地位が低すぎる。保護者へは子どもを施設へ預けやすくしようとする社会の流れを感じますが、親と子が一緒に過ごす期間がどんどん短くなっていると思う。大切な乳幼児期、親子が心穏やかに共に過ごせる社会であってほしい。とにかく小さい子（生後数か月）が親から早く離されていく切ないです。
女性	30歳代	10～19年	正職の給与は上がっても臨時は上がらない。だが早番遅番、事務など正職なみの負担が多い。正職の働き方改革はされても臨時は全く保障されていないのが現状。臨職が正職のフォローに回っているのに、給与は正職が高いのが納得いかない。真面目に働く人が優遇される世の中であってほしいです。
女性	40歳代	20～29年	一番は業務負担を見直すべきだと思います。私の園では、ICT化で業務の負担減を目指していますが、子どもの午睡中に保護者への連絡帳を入力しないといけなくて毎日自分の休憩はありません。近隣の園では事務職員を配置しているところがあり、私達も希望しているのですが要望は通りません。近年、早朝から延長保育まで長時間保育の園児は増えて、低年齢になるほど多いので夕方になっても保育の人員が足りず、事務時間を確保できません。配慮の必要な子どもも多く観察会、保護者との面談、受診の同行等、以前にはあまりなかった業務も加わり、体力的にも精神的にもきつのが現状です。
女性	20歳代	10～19年	給与の見直しが一番。低すぎる。命を預かっているのに感謝もされない。人員配置見直し改善、グレーの子どもの多すぎる。1人で十何人（以上児）も見きれない。
女性	30歳代	10～19年	保育士確保で新入社員の給料を上げていますが、ずっと働いている中堅層の給料の方が安いのが納得できず、辞めたいと思っています。記録に残す書き物も多く、度々書き方も変更になるため、非常に面倒くさいです。保育より業務優先になります。
女性	50歳代	30年以上	保育士の配置基準見直しを、現場の声を聞き早急に決定してほしい。小学校以上の教員は少しずつクローズアップされてきたのに、保育園等の負担には目を向けてもらえないのは絶対におかしい。私たちは託児をしているのではない。子育てをサポートしていく立場だと思っている。
女性	50歳代	20～29年	保育実習に来て、やはり給料面で、都市部で就職する学生がいるので、やはりやりがいも感じて、その証としてそれなりの給料は必要かと思う。悩みを離せる管理職の存在、安心して同じ気持ちで保育を進めていける職場づくりが大事と感じる。経験豊富な人の意見が通りがちにならない体制作りも必要と感じる。子ども達のこれからを思って少し頑張らせたいこともあるが、不適切保育が問題になっており、問題になるからしない、させたくないという声が職場内でもあります。保育者を守ってくれる体制等もほしい。

令和5年度保育人材確保・定着に関する実態調査 調査結果詳細（現役保育士）

女性	50歳代	20～29年	業務負担の見直し。ある講演家が園の様子をドキュメンタリー(写真)作成するなど日々しようと思うと、月案の中の週案作成をなくすなどしてもいいと思うと話されていました。なくなると書類作成が減り嬉しいです。
女性	50歳代	10～19年	なかなか休憩も有休もとりにくいが、処遇改善制度が出来たことで働きやすくなった。
女性	30歳代	10～19年	近年メディアで流れる事件（園児虐待、バス事故等）同じ保護者としては本当に許せません。絶対に有ってはいけない事です。しかし、その裏には保育者たちの業務負担が大きくある事も事実です。そういった負担を減らし楽しく仕事ができるような配慮を考えてもらいたいと思います。また、事件が増す度にチェック項目やアンケート等の書類が増えている事も事実です。それから、「保育士の配置基準」を急速に考えてもらいたいです。女性就労や共働きが進み、園児の保育時間も長時間化してきています。
女性	50歳代	10～19年	園の子育て対策は、保護者の支援ばかりに力を入れているのではないかと思う。保護者支援に伴う、保育士の負担や子ども達への負担も考えていただきたい。今のままでは、子どもを育てるのは親よりも保育士の役割になってしまうような気がしてしまう。
女性	30歳代	10～19年	保護者に対し、病児保育の有無や利用できる施設を広く伝えてほしい。発熱など症状を誤魔化して登園し、連絡がつきにくいのは負担。それが保育士内でも不満が出て、雰囲気が悪くなり悪循環。保育士だけでなく利用する保護者にも意識してほしい。
女性	50歳代	20～29年	正規職員の不足で、仕事内容がハードになっているにもかかわらず、臨時職員の時給は変わらず、勤務時間も増えています。保育現場のベテラン正職員が増えないと、新人保育士の指導もできないのが現状です。もっともっと人員に余裕が欲しいです。
女性	50歳代	5～9年	公立より私立の方が園長・理事長の考えが強く、保育士が働きにくい現状が多く見られると思います。私の園では自由に有休を取ることもままならず、毎年有休消化できていません。祝日のある週のみ、有休取得できる週と限定され、希望を出すも園長から有休は全職員平等に取る義務があるとの返答がありました。2日続けての休みも土日以外は取れませんでした。これって県の監査でチェックしてもらえませんか。
女性	20歳代	1～4年	給与を上げる事が一番だと思います。保育士のイメージを良くすることも大切です。
女性	50歳代	5～9年	保育士の仕事の重要性を社会的に認めてほしい。事務仕事の簡略化。個人記録、保育記録など本当に毎日必要なのか。子育てを経験した中高年齢層への働きかけ（保育士免許はなくても子育てのプロフェッショナル）。ベテラン保育士への古い保育観払拭への働きかけ。労働環境の改善（サービス残業を減らす、休憩時間の確保、有給休暇がとりやすい環境づくり、悩みや心配事などを相談し解決できる場所窓口）。政府が保育所へ入所できる条件を緩和し、利用希望者も増えることが予想されますが現状は厳しいです。業務内容に対して条件が悪すぎる。命を預かっている仕事なのに。子ども達の笑顔を守る保育士が笑顔でいられるためにも早急に保育士の労働環境、条件を大幅に改善し優秀な人材がたくさん保育士として力を発揮できるようになる事を希望します。
女性	20歳代	1～4年	保育士と言われるのは大抵保育所に勤めている保育士のみを指しているのが悲しいです。障がい児分野や児童養護施設、乳児院など様々な現場で保育士として働いている人にも目を向けてほしいです。他職種が働く現場に専門職の研修情報が入ってきづらいので情報の開示や研修の機会を頂けると嬉しいです。
女性	20歳代	1～4年	園への訪問にくる方がいますが、来るという事を言わずに調査しに来た方が良く思う。日頃していないことを、いかにもしているかのように見せている行動があった。
女性	60歳代	30年以上	私たちでも若い人たちのフォローが出来て、園として良い保育が出来る手伝いが出来ればと思います。若い人たちを色々な意味で支援しながら安心して長く勤めてもらう事が出来ればと思います。
女性	20歳代	1～4年	今までの経験を武器に、私たちが新しく挑戦しようとしている保育を実施する前から否定してくるのは離職につながるのではないかと感じてしまう。同じ性格の子どもは今も昔も1人もいないのに「昔はそんなことしていない」と言われるのは辛い時がある。
女性	60歳代	20～29年	保護者の相談や要望を専門に受けるベテランの人を各施設に配置する。
女性	20歳代	1～4年	圧倒的に人員が足りない。人手不足で保育をすることがどれだけ大変か、少しでもいいので行政職の方に体験に来てほしい。新人保育士への指導の足りなさがひどい。やりながら覚えるというには業務量が多すぎる。1年目からクラスの責任者なんて聞いていないし、ありえない。何もわからずやっていると、ヒヤリハットや事故が起こる。教えられていないことが問題なのに、わかっていないことが問題視され責められる。給与も低いため辞めたくなるのは当たり前。これだけやりがい搾取な仕事は他にない。
女性	40歳代	20～29年	保育士のやりがいだけで今までやってきました。就職も当時は正職なんて無理な時代で、正職からは差別とも受け取れるような態度（あいさつしても「ふ～ん」、駐車場が一番遠いところ）。仕方ないと思っていましたが、今思えば最悪な思い出です。あと給料が少ない。少なく感じるのは一日中ずっと気を張っているからです。バスの乗降、虐待、保護者の対応。学校の先生の働き方改革とか見ますけど、トイレ行けるならまだマシでは、お茶飲めるならいいのでは、と思ってしまいます。

令和5年度保育人材確保・定着に関する実態調査 調査結果詳細（現役保育士）

女性	30歳代	5～9年	熱意や知識のある新人保育士が就職しても、先に働いている保育士や昔からの園内の文化・雰囲気アップデートされていないので、その熱意や知識が活かされません。例えば、子ども理解に努め寄り添う保育をすると「甘い」「次年度受け持つ担任が大変」と言われる。前例に無いことはあまり受け入れられないなどです。素晴らしい先生方ももちろんおられますが、自分本位な保育士が多くいます。正職・会計年度職員ともに、質の底上げ、第三者からの視線が必要です。子どもに寄り添いたくても、子ども15人、30人に対して1人では無理があります。どうか配置基準の見直し・改善をお願いします。
女性	20歳代	5～9年	保育士は子どもの乳幼児期の大切な期間を預かっている重要な職であるにもかかわらず、1人に対して手厚く見るのでできない人材不足、配置基準という壁があります。鳥取県として手厚さのある基準を独自に制定できないのでしょうか。また給与面ですが、休みの確保は本当に厳しいです。子どもを預かって他の人は休めているのに、私達保育士が休めないことは不満を感じる事でしょう。おまけに、正直古い考えの人ばかりで休みにくい圧というものをたくさん聞きます。その人たちに交換研修という枠で他園に行ってもらう事で、他園の良い所を取り入れる機会を作る事や、覆面として他園の実状を3ヶ月程入り県が収集するなどすると、外の風が入って良いかと思えます。
女性	30歳代	10～19年	こういったアンケートは定期的に行ってほしい。正規の職員に比べ、非正規の声は届きにくく、不満がたまりやすい。低い賃金で正規の職員と同じように業務、早番遅番などをこなし、不安しかない。給与面、待遇面など一向に改善されず、日々子どもたちの命を預かり、保育していくのは本当にしんどいです。正規の職員ばかり優遇されていますが、まずは非正規職員の待遇も、もっと改善してほしい。
女性	30歳代	10～19年	勤務内ずっと子どもの保育を行っているため、その他業務は休憩を削って行うか、時間外になってしまう。保護者支援を強化するなら、保育士支援をまず十分に行ってほしい。精神的に休まざるを得ない職員も増え、人手の無い中さらにフォローが必要となり、自分の業務が進まず、残務になるなど悪循環の毎日です。
女性	60歳代	1年未満	女性が多い職場のため女性特有の陰口、パワハラ、不適切保育など少しずつだが無くなければいけないと思う。自分の事だが無資格から一生懸命、仕事、家庭を両立しながら大変な思いをして勉強し、資格を取ったのだが、少ししか給料が上がらず、本当に残念な思いをしました。国家資格なのに給料が低いと確保、定着は難しいと思う。
女性	40歳代	20～29年	きつい仕事なのにコドモンが加わり全く仕事が減らない。どんどん増える仕事にみんな疲れています。休憩もとれず、勤務時間中に仕事が出来ず残業し、また持ち帰り仕事も多い。オンラインの研修や行事もコロナが緩和されて増え、仕事が3倍になった。休みもすべて体調不良で取っている。リフレッシュで取る休みなどいままで1度もない。クラスの月案、週案、個別指導等、行事の用意、日々の仕事の用意、書き物もととても多い。
女性	30歳代	10～19年	人員配置を早く見直してほしい。給料をもっと上げてほしい。ITC化で余計に仕事量が増えた。日誌や児童票などもっと簡単にしてほしい。保育より事務仕事をする時間が多い。本当に必要な事だけ記録するようにしてほしい。あと「保育要録」って本当に必要ですか。小学校の先生方に話を聞くとほとんど見ないと言っています。こちらが何ヶ月もかけて書いたものを見ないと言われたらやる気なくしました。
女性	30歳代	10～19年	給料を増やすよりも、仕事量を減らしたり、保護者の間に入って話をしてくれる人がほしい。育児が出来よう、時短勤務が取得しやすかったり、看護休暇が取りやすかったりする環境を作してほしい。
女性	20歳代	5～9年	保育士の事務作業が多く、子どもと関わる時間が少なく感じる。事務員なのか保育士なのか分からない。事務作業の削減が人材の定着を促すのではないかと思う。
女性	60歳代	1～4年	現在保育士試験に合格すれば取得できるので、もっと教育を充実して簡単に資格が取得できないようにする。高い教育を受けることで幼児教育の重要性を国レベルで考えていかなければ、その先の小、中、高の教育への積み上げが出来ない。
女性	50歳代	20～29年	今の保護者支援が子育て能力低下に拍車をかけている。離乳食もオムツはずしも全部保育園、人任せ。これでは子どもの成長を感じることもできず、喜びも感じられないと思う。子育ては大変なのは当たり前。親の心に寄り添うのではなく、もっともっと子どもの心に寄り添うべき。長時間保育は子どもにとって負担でしかない。親も子どもと一緒に過ごすのは大変かもしれないが、それを乗り越えて子育ての楽しさや喜びを感じてほしい。本当に素晴らしい職業だと思っていますが、賃金が低いこと、保護者の自己中心的な考え方に、がっかりすることが多いです。
女性	40歳代	10～19年	不適切な保育などの悪いニュースばかりが取り沙汰される。主体的な保育、質の向上など求められる事は多いのに、変わらない配置基準、低賃金、書類雑用の多さ、見せる為の行事など。そこに加え、誰でも通園制度。トップダウンの園内組織。離職していく人。現場の負担感が増すばかり。監査なども、そこに合わせて体裁を整えて望んでも、実際の実態は見えてこないのではないかと感じる。そして来る人によって言う事も違うので現場が混乱することも多い。

令和5年度保育人材確保・定着に関する実態調査 調査結果詳細（現役保育士）

男性	20歳代	5～9年	世間的にも低賃金と有名になっているこの職種ですので、まずなり手不足の打開にはそのイメージを少しでも払拭する必要があると思います。また、市や県の任期付職員に退職金が無いのは疑問に感じます。それが無い事により正規職員になる前に公立の施設で働いて経験を積もうという方も減ってしまうと思います。また、働く園（系列内）によって給与の差が大きく出るのを疑問に感じている人は周りにも多くいました。
女性	30歳代	10～19年	国家資格の専門職にもかかわらず給与が低すぎる。定期的に研修で知識を得ているし、子ども達の命を守るため勤務中はもちろん、勤務外でも次の日の保育の安全性について神経を使っている。子ども達と関わる仕事はかえがえのないものだと思うが、それに見合った給与改善を行ってほしい。私の企業では、新人保育士の給与が高く設定されている。十数年働いている私達と手取りの給与が変わらない。保育士の仕事は帳簿入力、保育教材準備、保育等様々な業務がある。時間内に業務が終わらない事も多いが、サービス残業がほとんど。正しく賃金を支払ってほしい。
女性	40歳代	10～19年	若い子は特に人間関係がしんどくなり辞めていくと感じている。せっかく夢や希望を抱いて入社したと思うので、続けていってもらいたい。今の時代と以前の年代とでは考え方も違う。「働く」ということに対しても考えが違うかなと。若い子が良い人に会って、しんどくてもやりがいを感じながら働ける環境になってほしい。
女性	20歳代	5～9年	現場は本当にいつも忙しいです。休憩時間を使って書類作成したり、クラスの先生とのコミュニケーションをとることも日々の保育において大切なため、話していると休憩が終わります。加配が付くようなグレーだと言われている子への対応がしっかりできる人がついてほしい。保育士はずっと給料が低いと言われているのに、なぜ上がらない。子どもがいる家庭が働けているのは保育所があり保育士がいるからなのに。私には2歳の息子がいます。子どもたちの、おもしろくて、かわいくて、頑張っていたり、泣いていたり、笑っていたりするその一瞬は、本当はその家族が一番一緒に過ごしたいだろうに、生きていくには働かないといけない。にこにこ健やかに育っていくべき子どもたちの保育をする人が、つらくて毎日涙を流すようなやり方をしているのはだめだと思う。
女性	30歳代	10～19年	有給休暇は取得しづらいです。今まで勤めた職場は有休は当然の権利としながらも、実際は取りづらく、取ってもお礼が必要でした。現在の職場は近年、日数を決めて取得しやすくなっていますが、働き出した頃は取得しづらかったです。パート、正社員に関わらず、肉体的にも精神的にも身を粉にして働くような職場です。パートだからと賃金を低くしたりせず、給与を見直す必要があると思います。そうすれば潜在保育士（パートで働きたいと思っている人を含め）が働いてみようかなと思っています。